

黄金色舞台

KOGANEIRO-BUTAI

5



はるがねのま
HARAZAKI TAKUMA



黄金色舞台

KOGANEIRO-BUTAI

⑤

はらぎきたくま

HARAZAKI TAKUMA

成年
コミック





黄金舞台⑤



第23話		3
第24話		29
第25話		59
第26話		83
第27話		111
天使のお仕事		145

特別生徒指導室
(校長専用)

あなた
女の子達に随分
ひどいことしてたのね

第23話



—— 1 学期終業式後 ——



こんなに
良いモノ
持つてるのに...

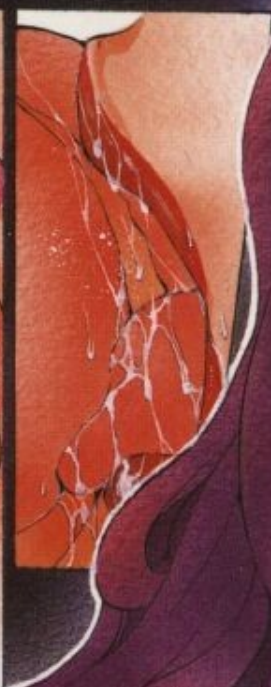


あんなヒドイこと
しないと満足
できないなんて...



あッ

ムッ





もう
イっちゃったの!?
…もったいないわね

これから当分の間
女相手に
射せないのに…

今日から
彼等が君の
相手よ

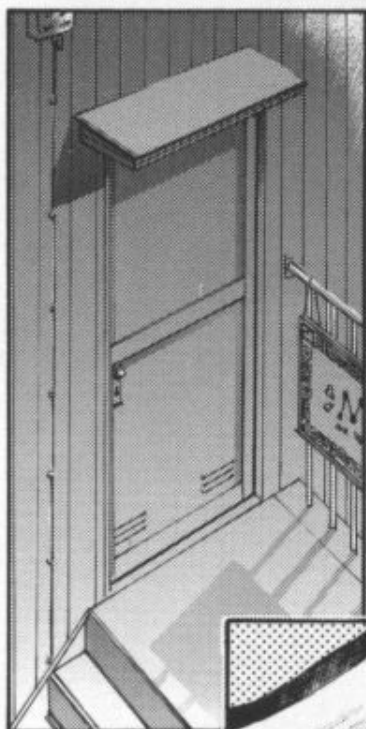
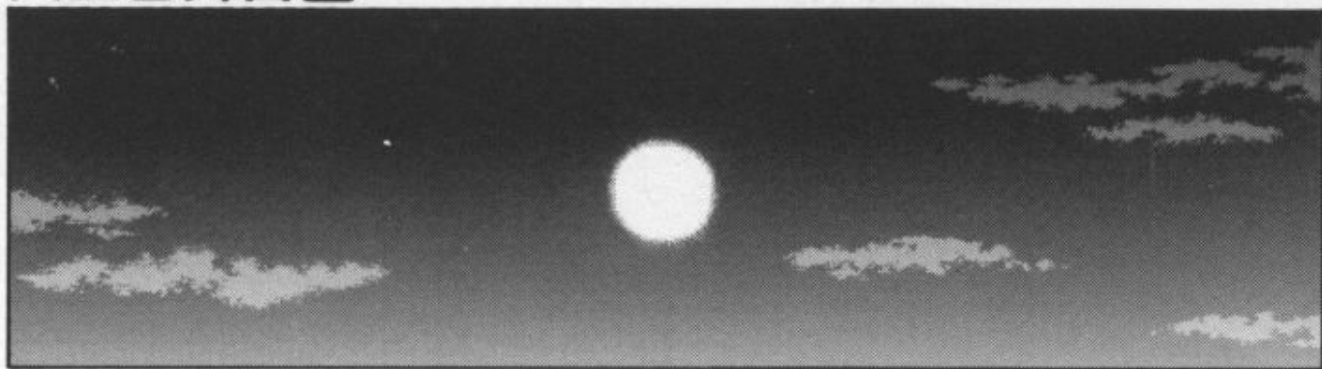
君が女の子達に
したことがどんなこと
だったかしっかり
体験してみなさい

なんで俺が
あんな目に会わなきゃ
なんないんだ…

みんな俺と
やりたかったんだ…
みんな最後は
よろこんでたんだ…

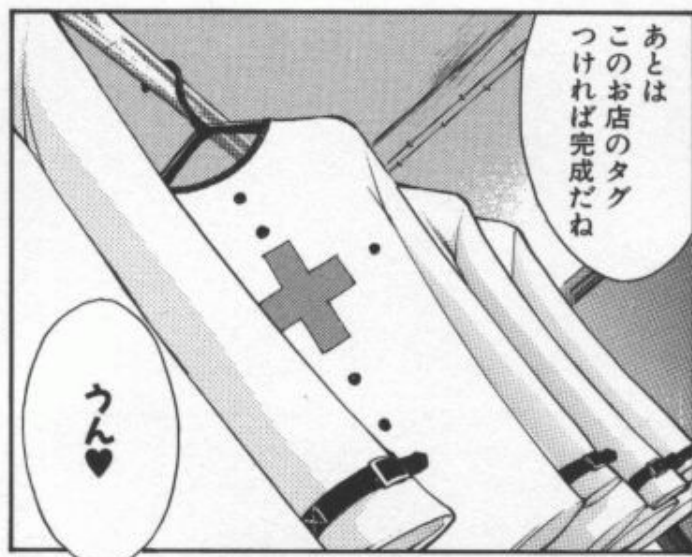
思い出した
だけで痛く
なってきた…

—— 現在 ——



できたあーッ





あとは
このお店のタグ
つければ完成だね

うん♡



よかったね
間に合い
そうで…



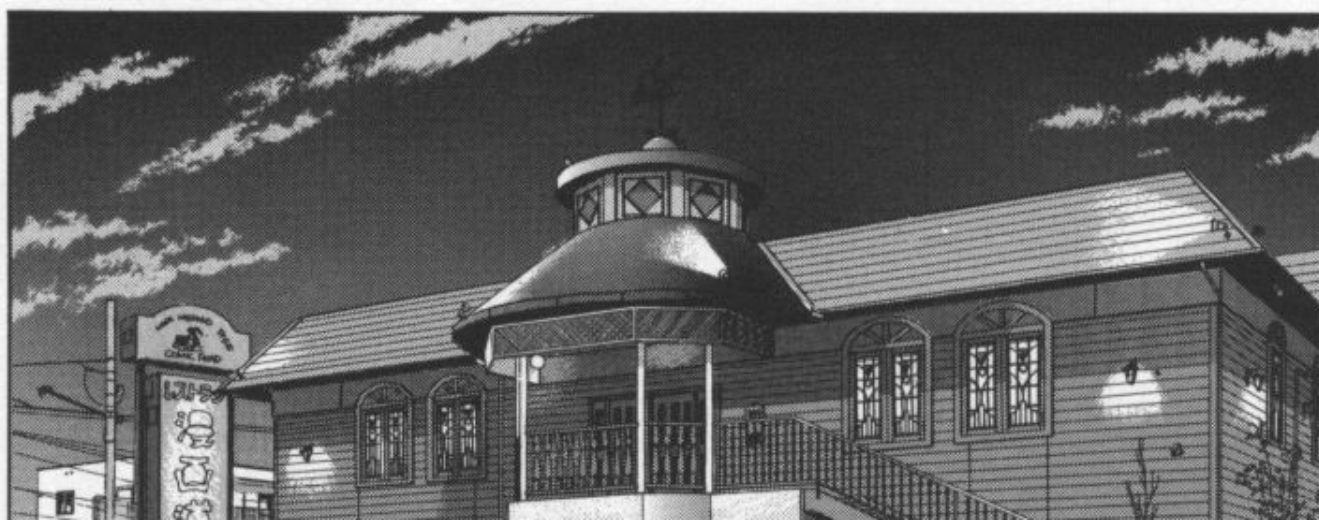
こっちの
プリントの方も
何とか終わったよ

ほんとにつ!!

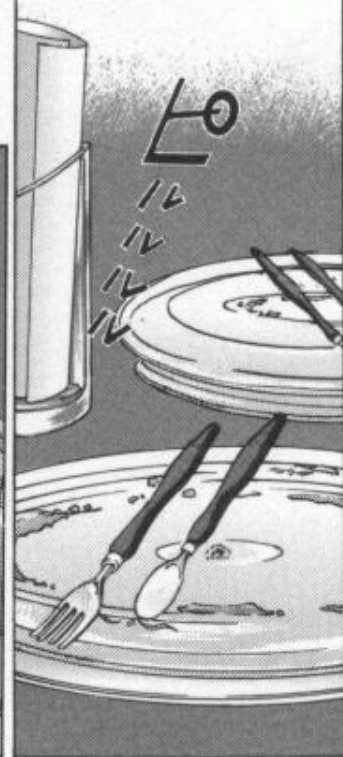


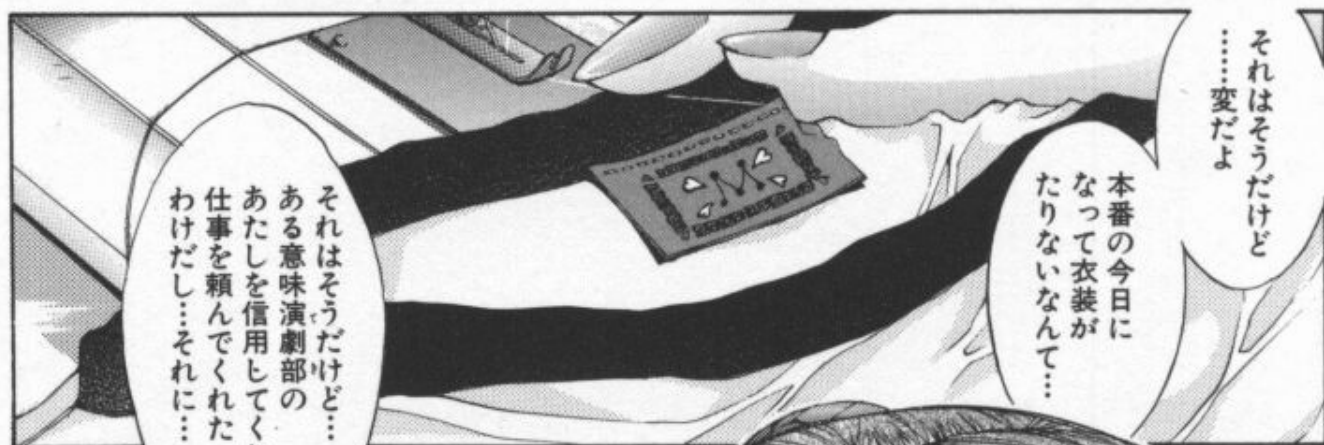
ありがと
野島くん

こんな急な注文
1人じゃぜったい
仕上がらなかったよ



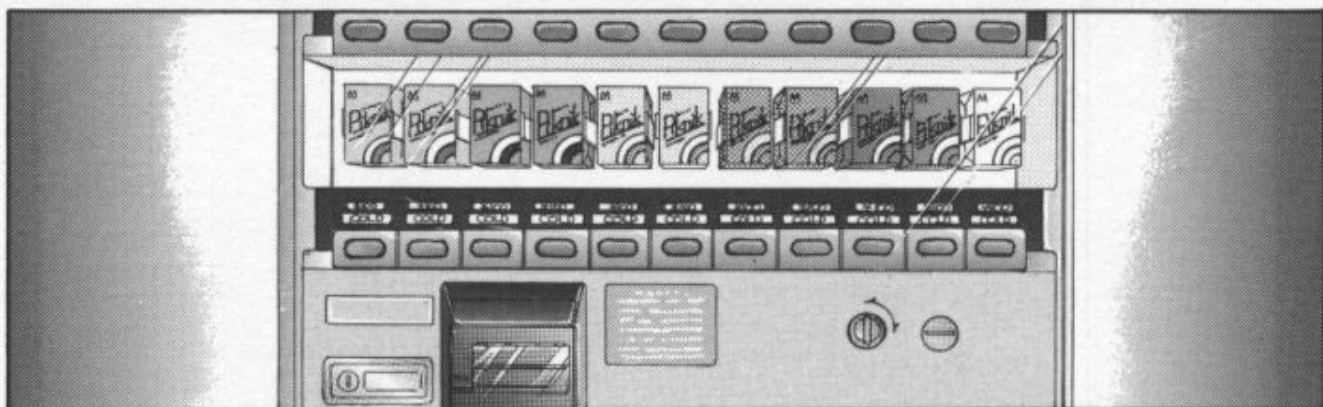
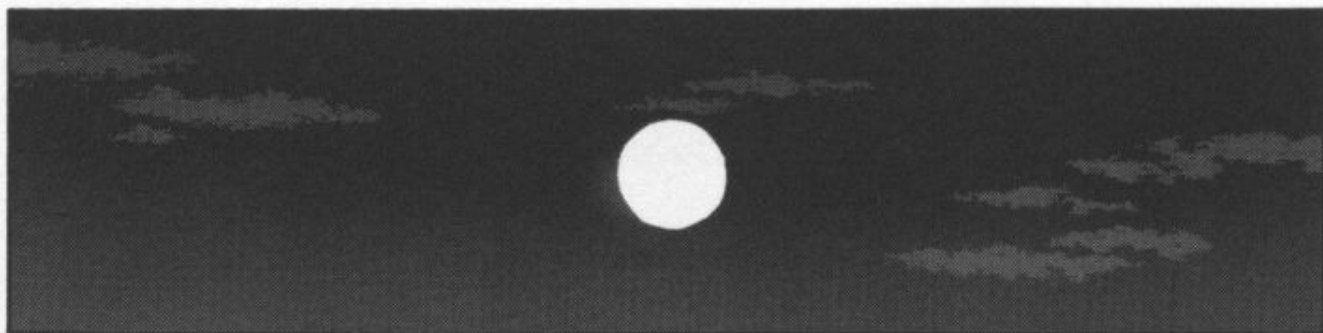
黄金色舞台5





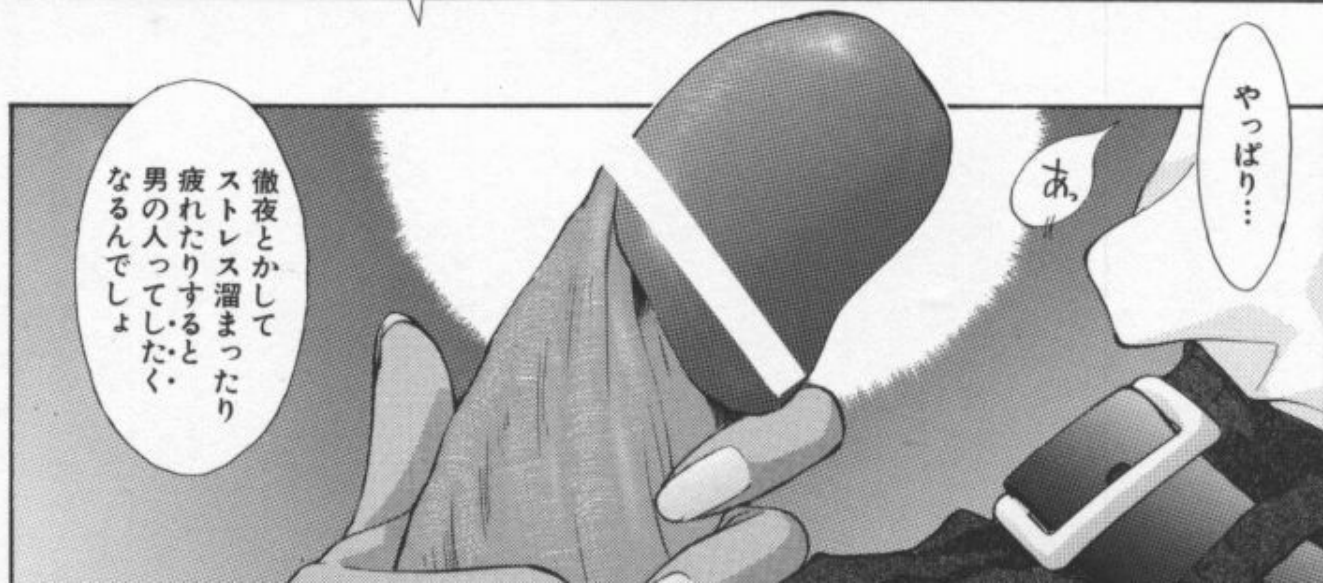
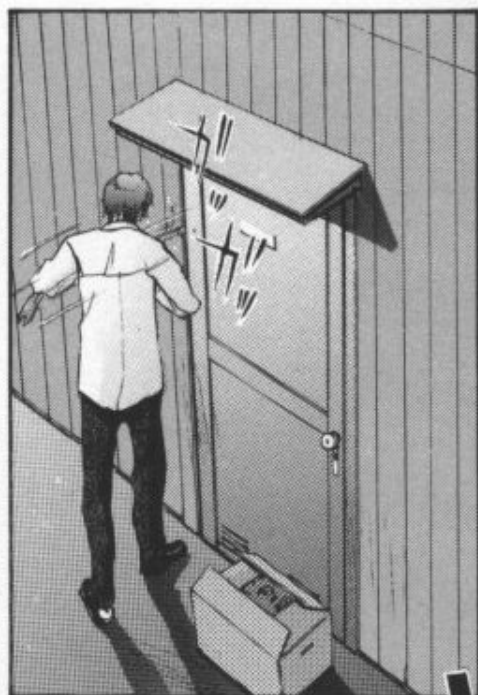
黄金色舞台⑤





黄金色舞台⑤





徹夜とかして
ストレス溜まったり
疲れたりすると
男の人ってしんど
くなるんでしょ

あ、

やっぱり…



あッ

あッ

あッ

ンッ...



あ



4

!!!



グッ

ンッ

ングッ

ンッ

うッ

グッ

グッ

うッ

グッ

ンッ...グッ

...おッ

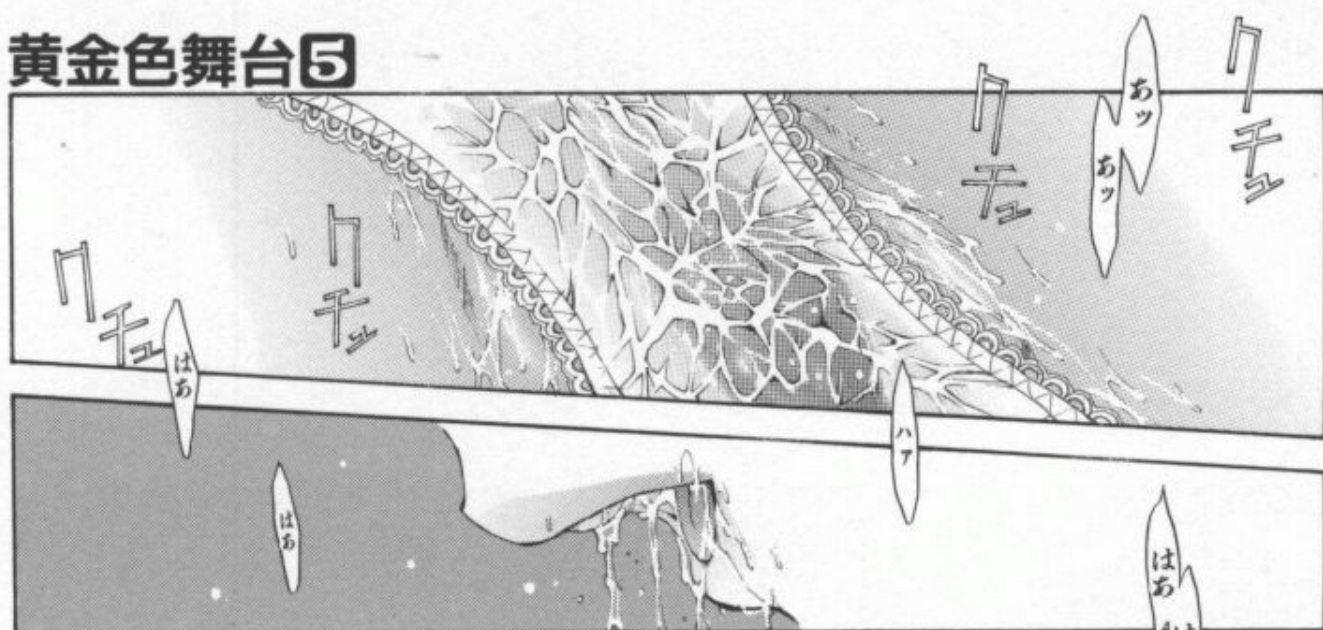
グッ

ンッ

グッ

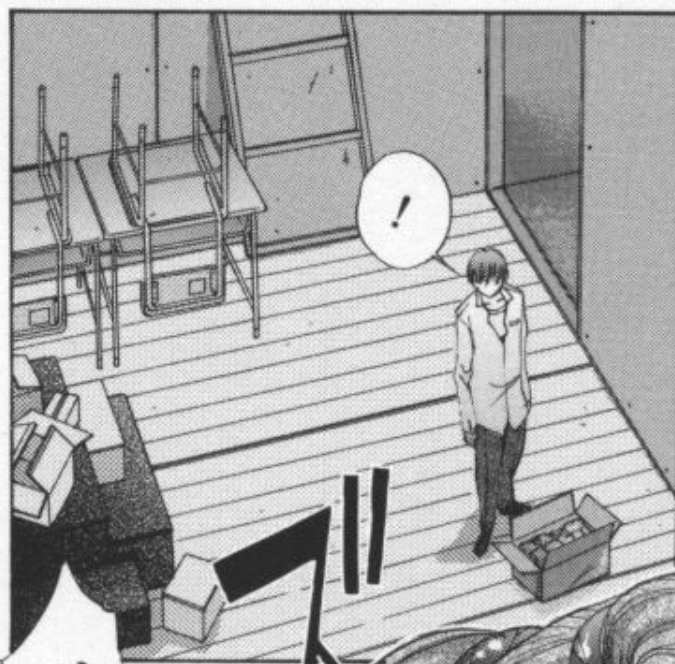
じゅ

黄金色舞台5



おッ

ンッ
ゴッ



はッ
ああッ





はあん

ああッ

ズム

ギョ

ひさしぶりて...
...ちよつと...
キツイ...

あッ

でも...
気持ちいい...

もつと...
奥まで掻き回し
てエ.....

はッ

ギョ

ギョ

ギョ

あッ

はあッ

やめた……

ンッ

はッ

あッ

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

ンッ

キッ
キッ



はあん

あッ…

いい…
気持ちいい…

オシリの方も
気持ちよく…
…してエ…

セコイ嫌がらせ
したってこの部が
なくなりや
しないんだ…

あッ

あんッ

あッ

あ…いっ
はいつてくる…
いっばいはいつてくるう

いいのオ

てるうう

もつと
突いてエ…

いっばい
あふれちゃうう



黄金色舞台⑥



射精してエ
早く射精してエエ
.....

はあッ

あッ

あッ

うん。



あッ

はあ

ハア

コッ

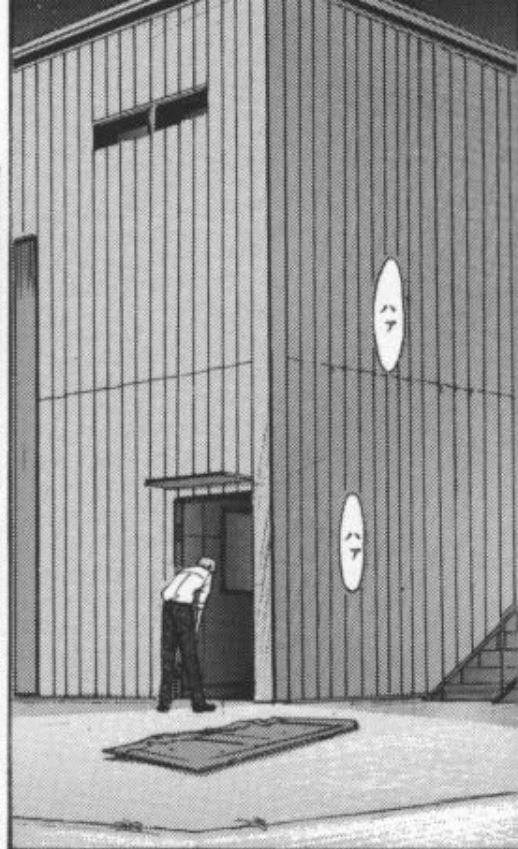
ハア

はあ

はあ









第24話

あたしはどこに 君はどこに あたしにはここが きっと黄金色にかがやける場所が・・・

黄金色舞台

碧雲高校第1演劇部'99'00 新部室第1番 作、構成、演出／浅坂巳喜男



99'00

上演期間10、11、12日

PM1 30～

CAST

数寄屋 玉子

野島 卓

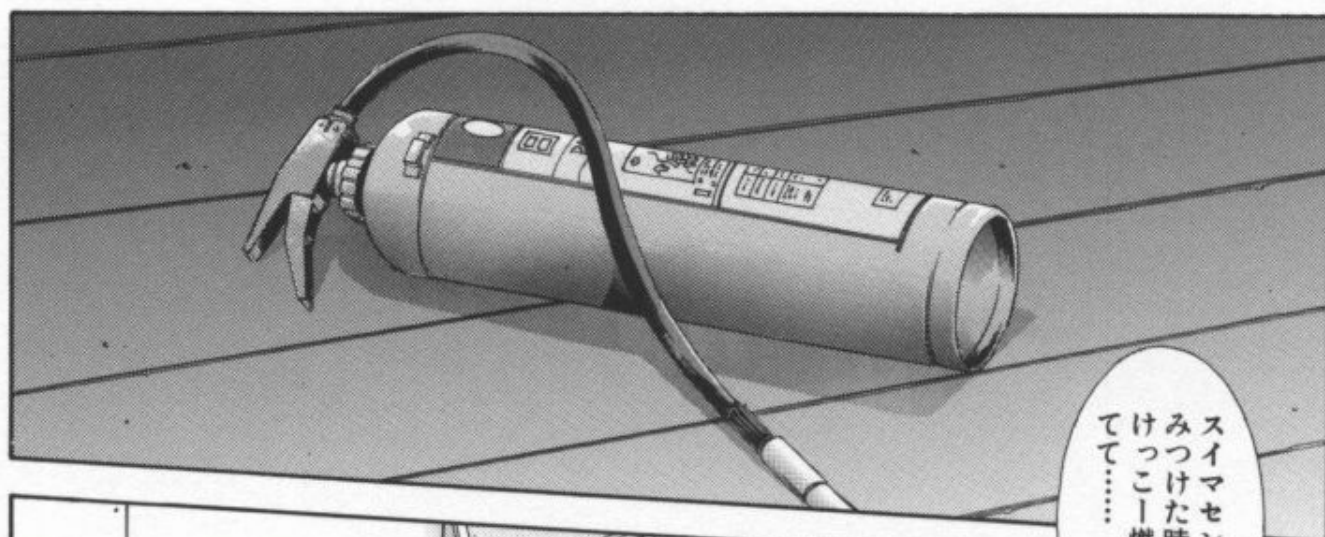
秋山 純

亜川 稲穂

碧雲祭第1演劇部公演

1999 — 2000

愛の気持を、自分の力として認めること。



スイマセン…
みつけた時はもう
けっこー燃えちゃっ
てて……



いや…2人に
ケガがなくて
良かったよ

誰がこんな
ヒドイこと…

顔とか
見なかったの？

黄金色舞台⑤



横顔を見たんです
けど…暗かったんで…
男の人だとは思って
ですけど…

この部に
恨みをもつ者の
犯行か…

個人への
恨みってことも
あるなあ



まあ犯人捜しは
文化祭が終わって
からにしよう

とりあえず
舞台使えるように
しないと…



稲穂ちゃん
塗り直したのもう
かわいてると思う
から中に運んで

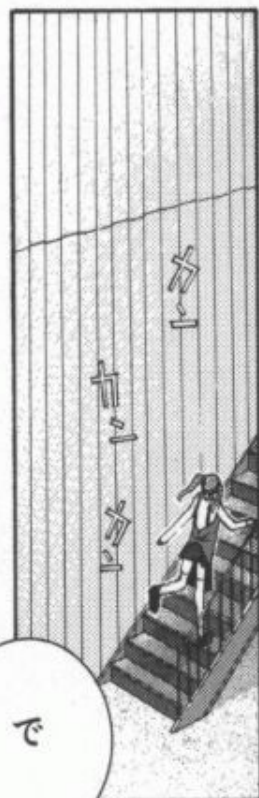
桃ちゃんと野島は
学校に看板立てて
来てくれ

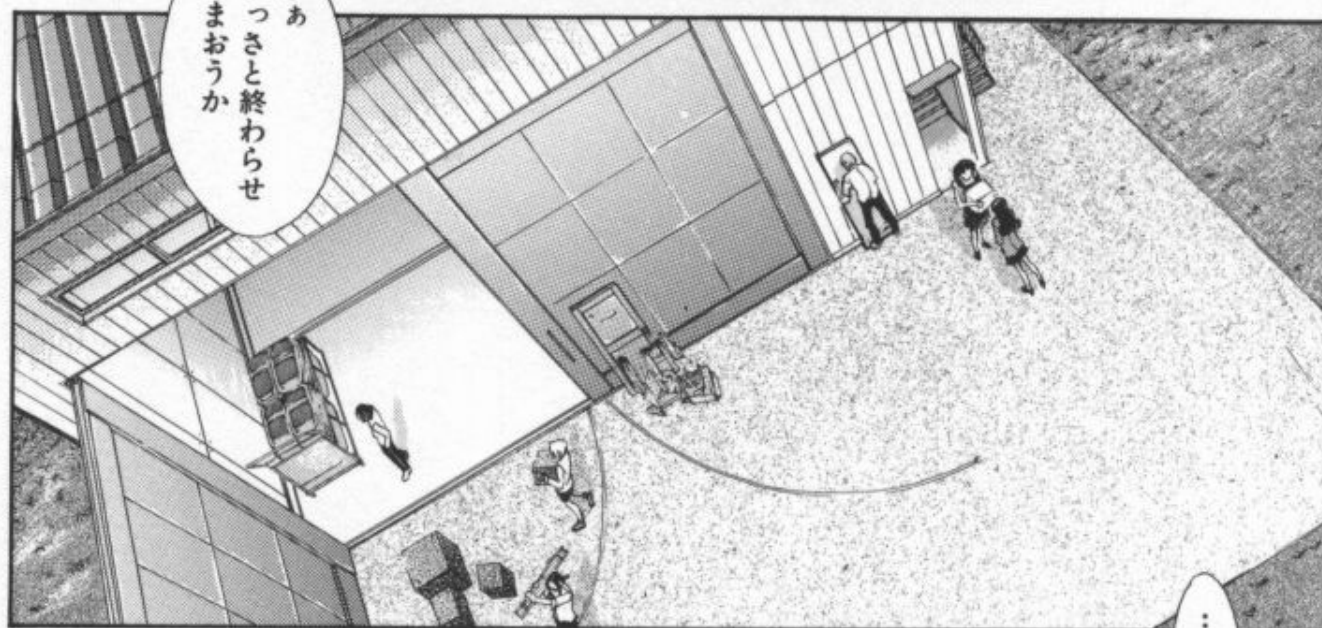
あー玉子は
借りて来たイス
並べろよ

よしっ…

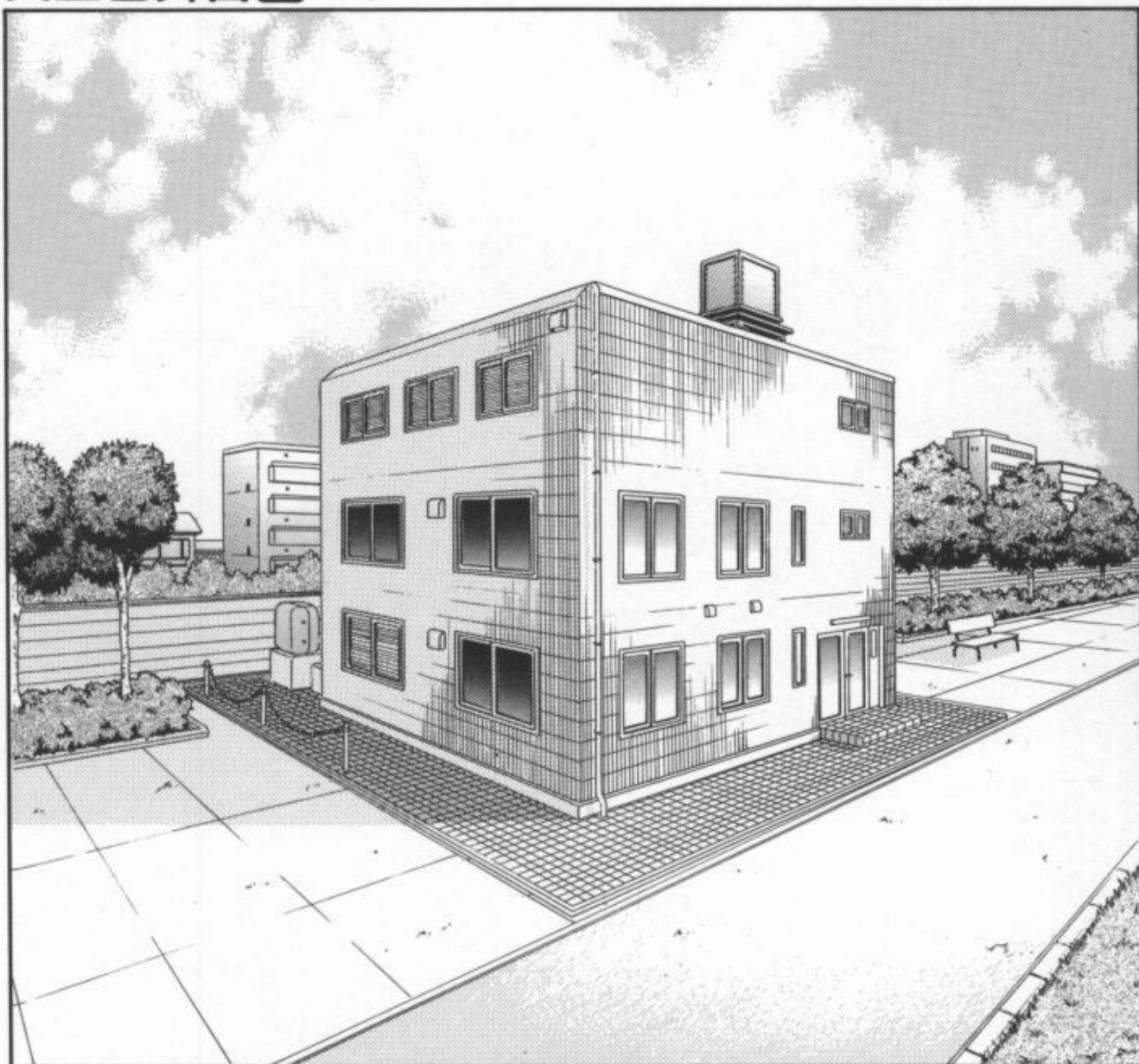
大変なことに
なったわねエ

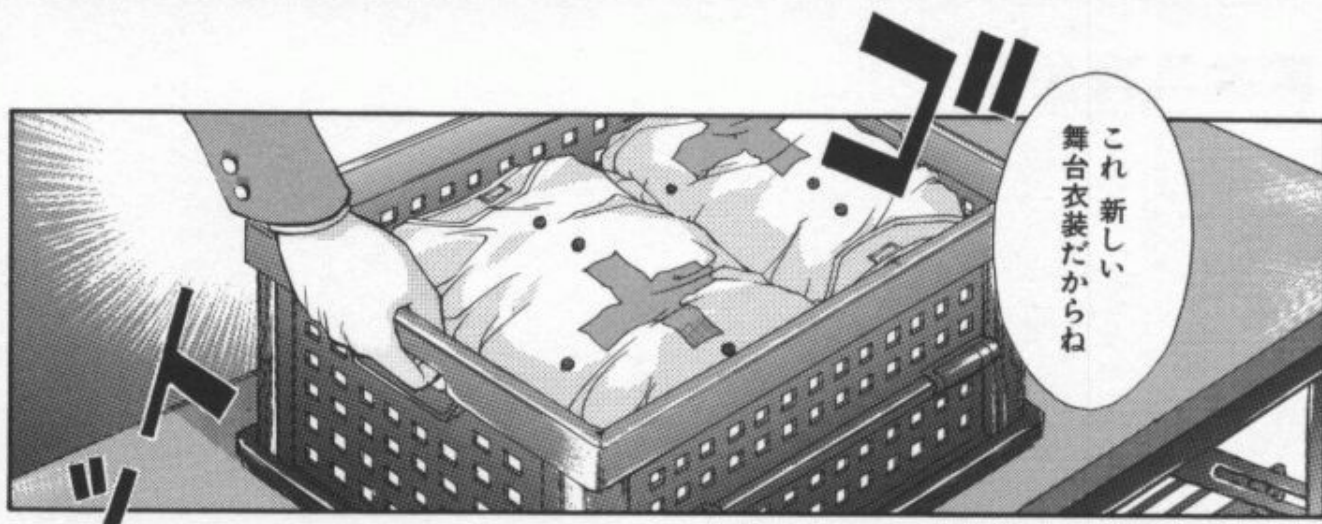




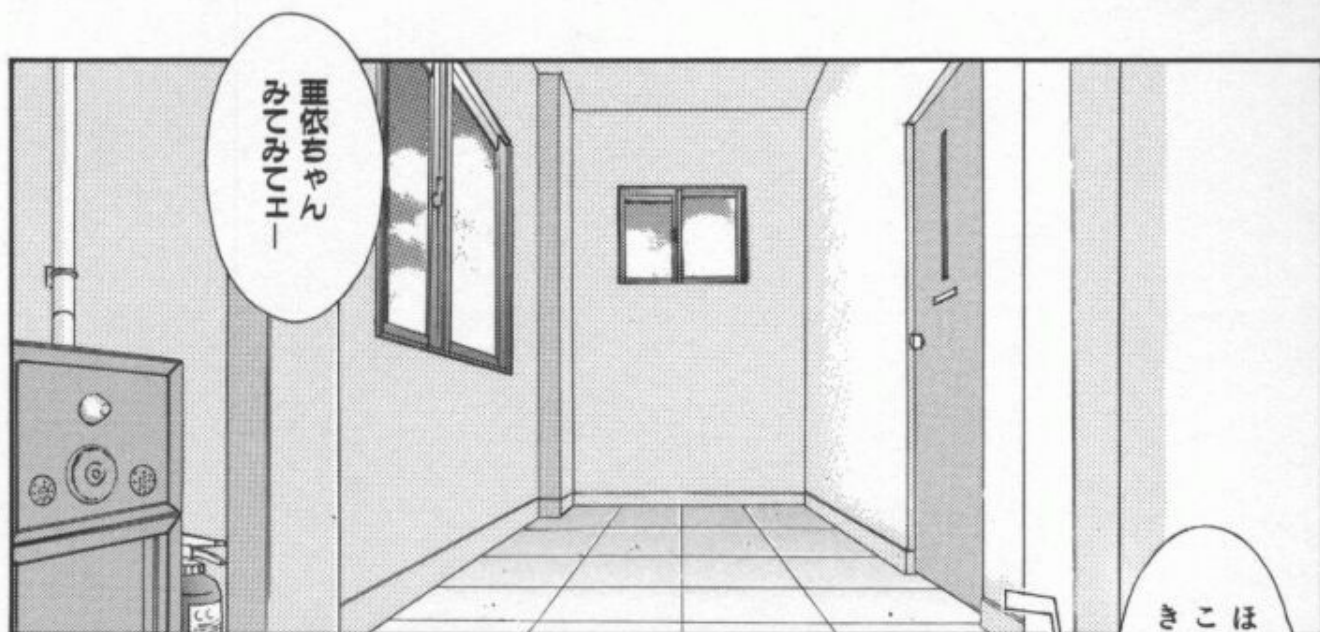


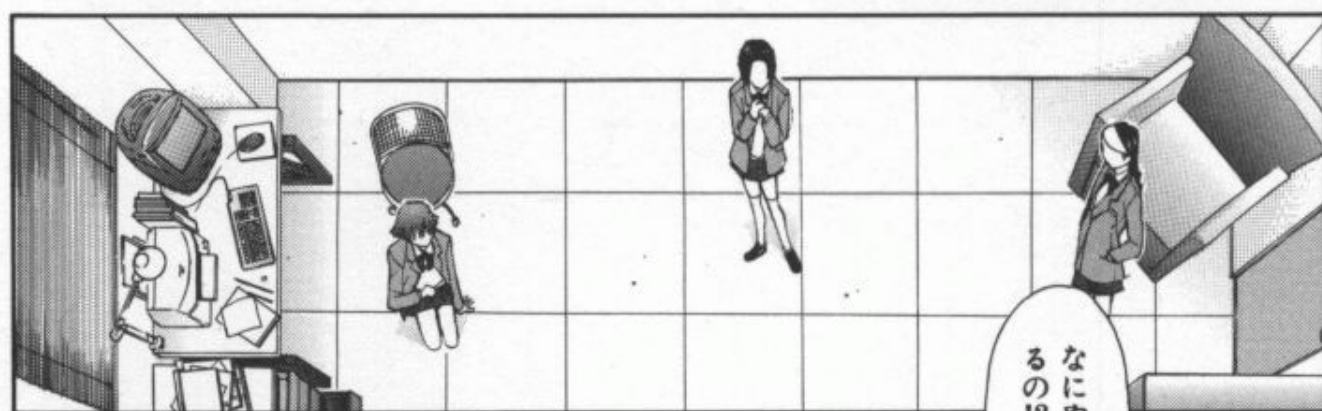
黄金色舞台⑤





黄金色舞台⑤





本番にむけて
心を解放する方が
大切なんですぅ

あっ…

川澄亜姫
2年C組
第2演劇部新入部員

川澄亜依
2年A組
第2演劇部新入部員

はいはい…

舞台がシンプル
だったから
たいした被害も
なかったわねー

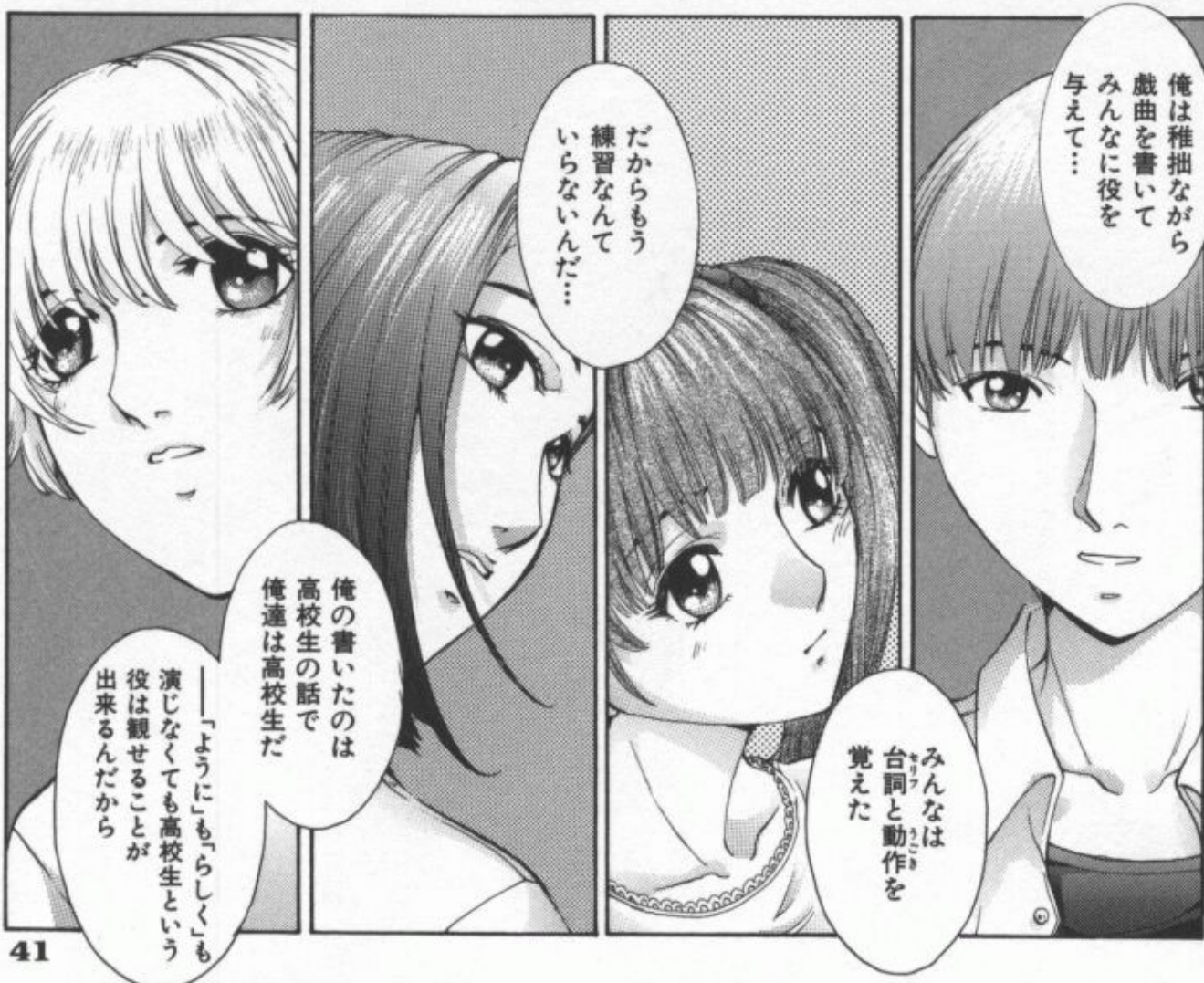
照明の方は
大丈夫だった!?

そっかあり
じゃあとりあえず
一時解散
本番1時間前に
集合ってことで…

まだ時間あるし
最後まで少しでも
練習した方が…

いいよいいよ 直前に
いくらやったって
急に上達する
わけじゃなし

あきらめて
るってことじゃ
……





だから
もうなにも
しないんだ

あと舞台の上で
やることは
高校生という役を
演じないことだと
思うから…

黄金色舞台⑤



悪いわねー！
文化祭の準備で
忙しいのに……
急に呼び出し
たりして……

あア……
いいんですよ
生徒会なんて
当日は仕事あり
ませんから……



それより



こうすることで
この子達は
リラックス
できるんだから……

いいのよ



いいんですか
本当に……
こんなこと……











さわっても
いないのに
もうこんなに
.....









あッ

おっ...
おっ...
おっ...

トッ
ユッ
ユッ

てちやう...

いっばい
いっばい
あふれちやう...

あッ

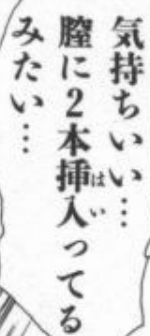
あッ

気持ちいい...

あッ

あッ







あっ...

そこ...ダメエ...

?

あッ

2本で4カ所も
感じられるん
だもの...

はっ



はあッ

あッ

はあッ

感じる…

いっぱい…
いっぱい感じちゃう

あッ

気持ちいい
…よオ

あッ

あッ

オナカの奥で
グルグル回って
るうう…

キッ

キッ

ビビビ



あッ

いいい...

ヒン

ヒン

あッ

はあッ

いいの...

ヒン

亜依ちゃん

亜姫ちゃん

あッ

イクッ...

ヒン

ヒン

いっぱい...
いっぱい奥まで
感じちゃう...

あッ

あふれちゃう...

イツちゃう

イツちゃう

あッ

はあッ

亜姫ちゃんが

コソコソ

シムシム

コソ

あ

グッ

おんッ





あたしの身体^はか
に入ってくる…

亜依ちゃんが…

じゃあ
後でね…



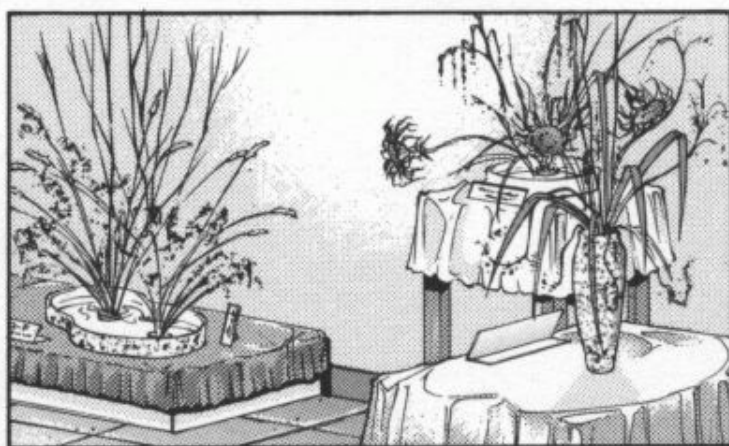
第25話

碧雲祭

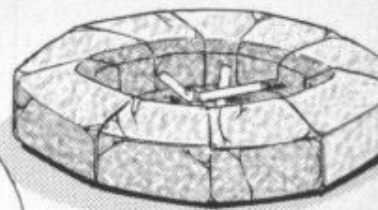
鼎立碧雲高等學校

碧雲高等学校
文化祭「碧雲祭」が
開幕した









ああいった事件が
起こったのは
やっぱり同じ部が
2つあるのが原因
だと思うのよ…



まア…神代^{アイツ}の
人間性が一番の
問題ですけど…

はい…



舞台が
小屋の大きさや
人数で決まると
思ってるのかア…

そんなこと
言っでないでしょ!!
普通に考えて—

普通に考えたら
存在している部を
2つにした方が悪いに



部屋の規模
部員数を比べても
私達の方に吸収
するのが妥当
だと思います



やだよ
ウェイトレス
なんてエ

他にやりた
がってた人
いっぱい
いたじゃん

担当の野上さん
休んじゃってるし
他の人も午後から
じゃないと手が
あかないのよ

あつ…あたしも
部活の方
あるから…

舞台午後
からでしょ!!
大丈夫!!
時間になったら
抜けさせて
あげるから

暇そうねエ

見てまわらない
の!? いろいろ
やってたわよ

舞台終わったら
ゆっくり見て
まわるよ…

…それも
そうね…

あつ これ食べる
あたしのクラスで
作ったんだけど…

うまいの!?

食べられは
するよ

黄金色舞台



——言っ
ないんでしょ
あのコには……

言ったって
仕方ないだろ……
余計なプレッシャー
かけるだけだよ



リラックスして
舞台上がるのが
大切なんだから
……

……それに
……マズイ



それにしても
いろいろ大変な
コよね

せっかく
入った部が
間違いだった
無くなりそうに
なったり

e t c
e t c

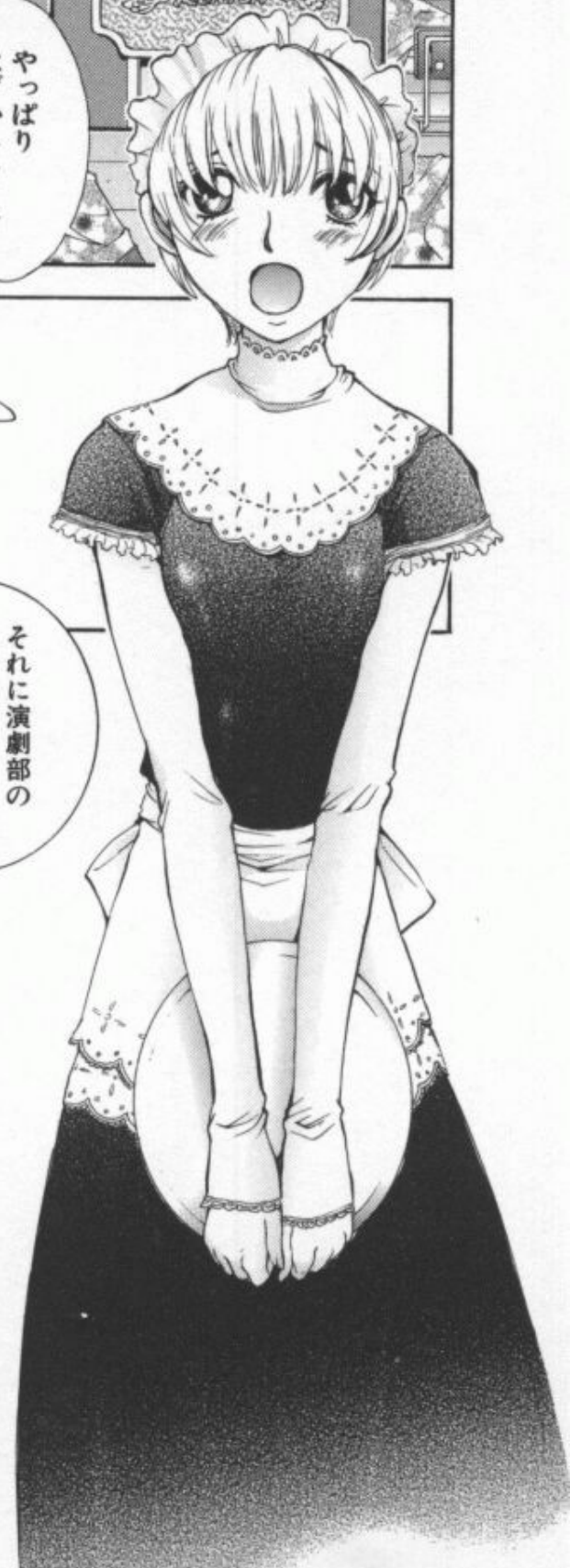
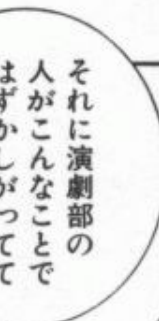
大丈夫だよ
縮穂ちゃんなら
絶対似合う
から!!

なんで
そんなこと
わかるのよ

前から
言ってるでしょ
縮穂ちゃんのこと
はわかっちゃうって

また……
そんなこと
言ってる

そのうえ
初舞台に
部活の存続まで
かかっちゃって
るんだから……



黄金色舞台5









黄金色舞台⑤



葵ちゃんの
言う通り
だよ...

その格好見たら
朝まであんなに
したのに...また
こんなになって...

あッ

はあ

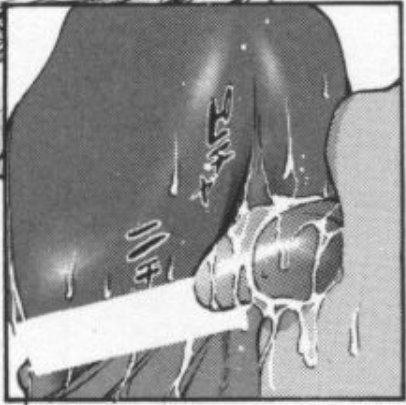
あッ

はあん

あッ

あッ
エあッ

エあッ



ハア
あッ

あたしも…
あんなにしたのに
……また……

……もらってない…
…のに…いっぱい
あふれちゃうの…
……まだ……

キュブ

ンッ…
あぁッ

俺達どっか
おかしくなっちゃっ
てるのかな…

会うともう
…我慢が出来
なくて…

こんな…人に
見られる場所
でしようとして…
…それでよけいに
興奮して…

ンッ
ンッ
グッ
ンッ





黄金色舞台⑤



はあうッ

あッ

はあッ

ギョッ
ギョッ

あッ...いい

気持ちいい
...あッ

ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ

ズ
ズ

ズ
ズ





?

はぁん

あッ

あはっ

気持ちいい...

いっぱい... 奥まで
いっぱい気持ちいい...

んあッ

あッ



はあうッ

あうッ

あつ...ダメ

ああッ...いつちゃう
...先輩.....

あんッ

キュッ

はんッ

キュッ

いつちゃうう...

?





ちようと
早く来すぎ
たか…

!?

センパイ…

早く…きてエ…
いっばい射^だ精してエ



!!

あッ

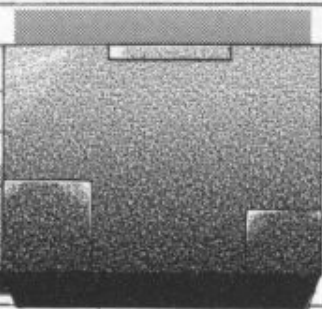
ああッ

ドクン



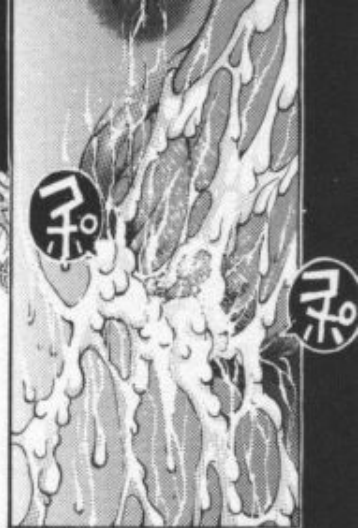


町外れの小さな丘
そこにはいくつかの
大きな石が置いてあつた
そこにはいつも三人の
男女が集まっていた
ただ三人はお互いに
声を掛けることはなかつた



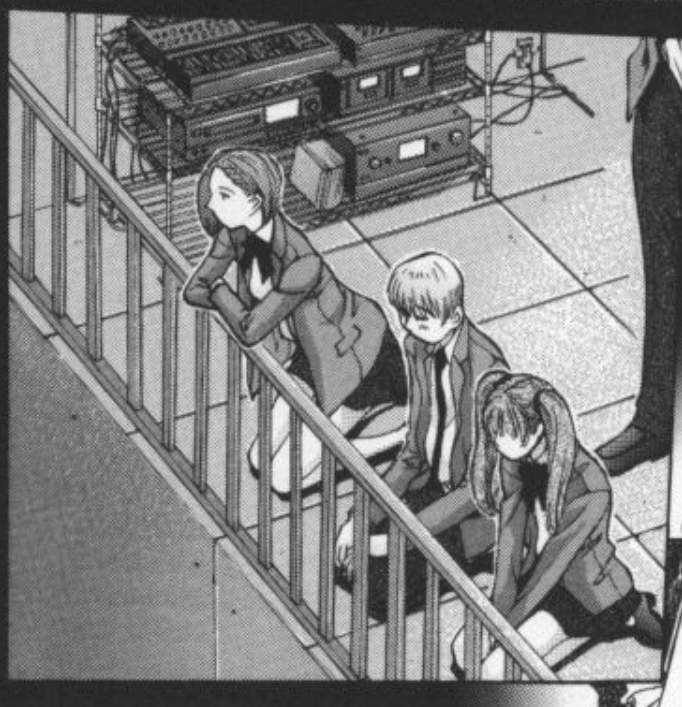
第26話





先輩……

もう少し……
……このまま……



ハア
ハア

ハア



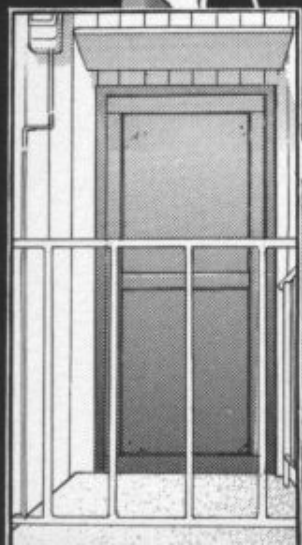
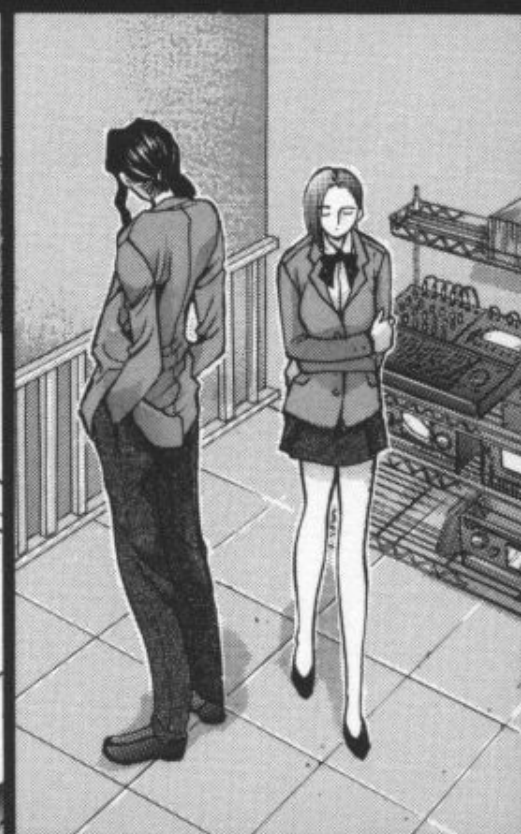
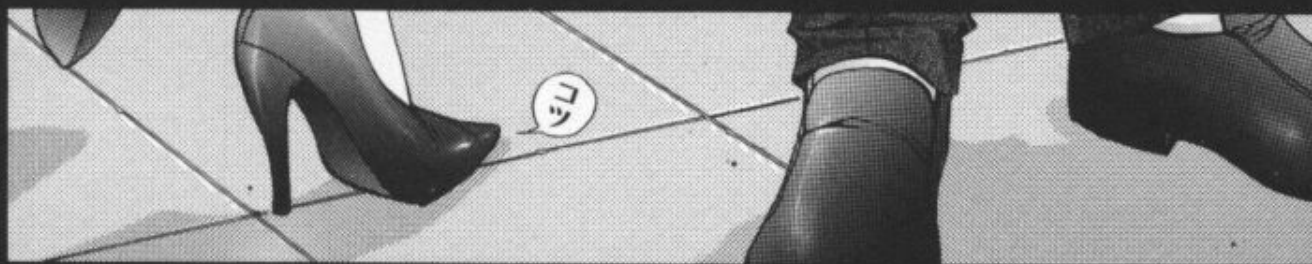
?



はあ
はあ

はあ
はあ







…ほら…

こんなに簡単に
……全部……
はいっちゃう…

どっかの
演出家が
言ってたな……

ンッ
…ンッ

ハッ…ハッ…ハッ…

クチュ

クチュ





あつ...どうしよう
もうみんな来ちゃう
のに.....

また...膺て...
大きくなって...
あつ.....

あつ...

はっ

ンツ...



あッ
はあッ

あんまり
声出すと
稲穂ちゃんに
聞こえちゃう...
よ.....

ンツ
ああッ

大丈夫だよ…
…だって…また
稲穂ちゃんの声…
聞こえるもん…

あッ
また…イツちゃう…

イツちゃうの…

すぐ…

はあん
あッ

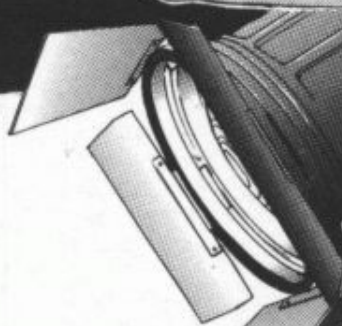
リラックスした
状態で舞台に
上がったて…

あッ

あッ

ああッ

んッ



「ある日そこに僕が行くと
見たことのない誰かが
その丘の中央にある一番大きな
石の上に立っていたんです」

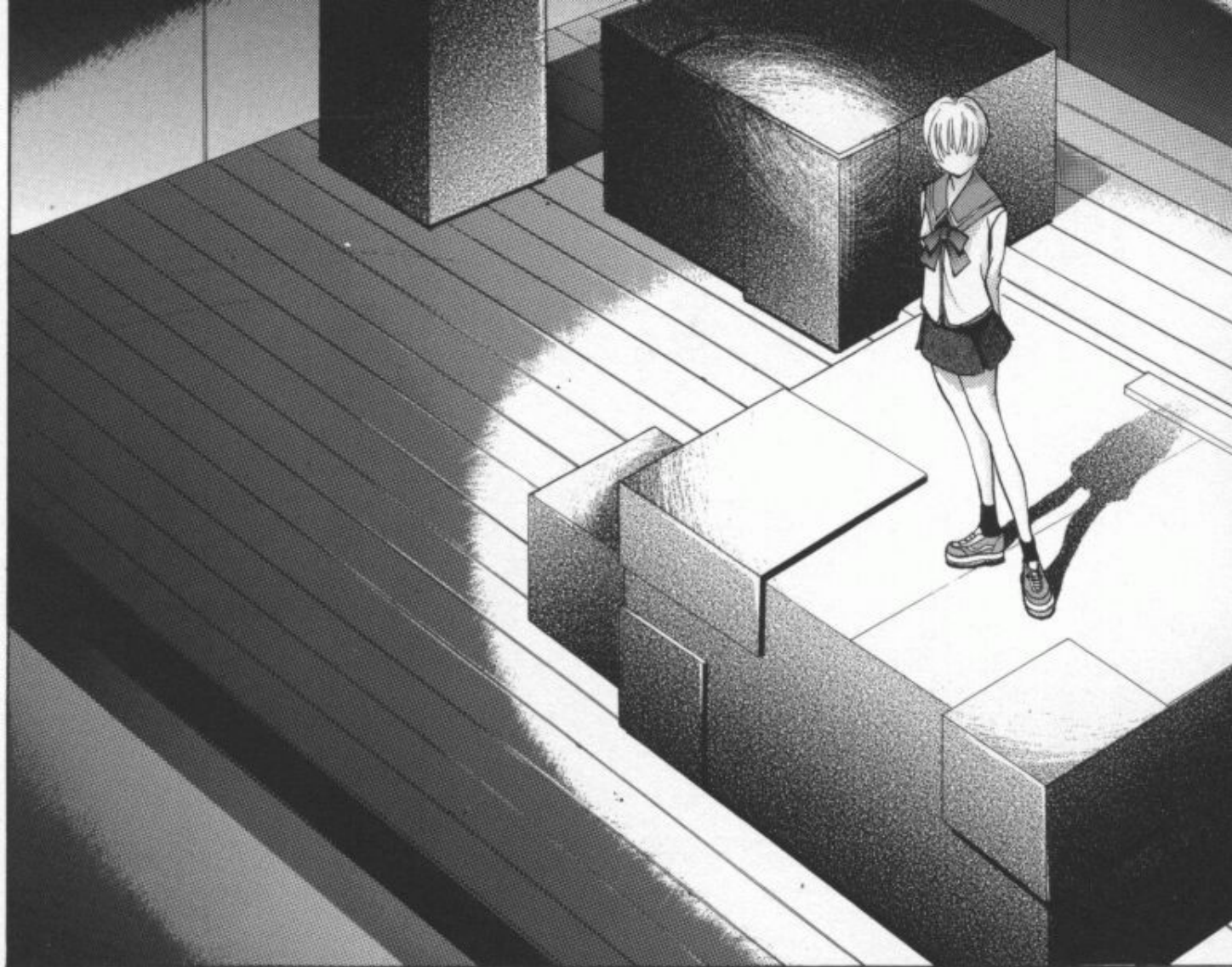
良い所ね…

ここあなたの
場所!?

舞台用の制服
(袴デザイン)

……こや……

良かった



「僕はそれをじっと見ていた」

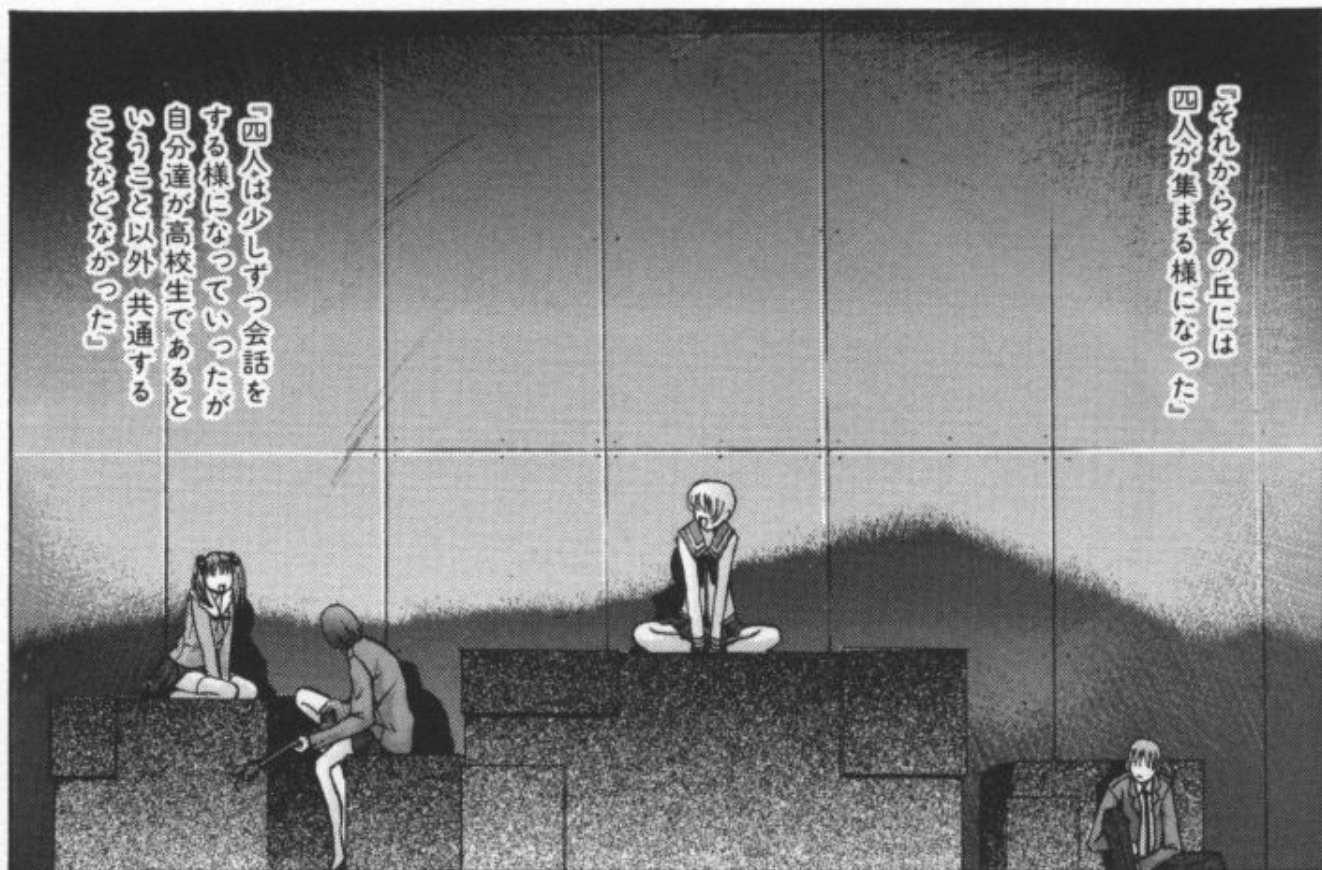


「そう言って笑う彼女の顔に夕日があたっていた」



『それからその丘には
四人が集まる様になった』

『四人は少しずつ会話を
する様になっていったが
自分達が高校生である
ということ以外共通する
ことなどなかった』



『ただ 彼女の話
.....』

『彼女の言葉に
耳を傾けて
たあいの無い話
.....』

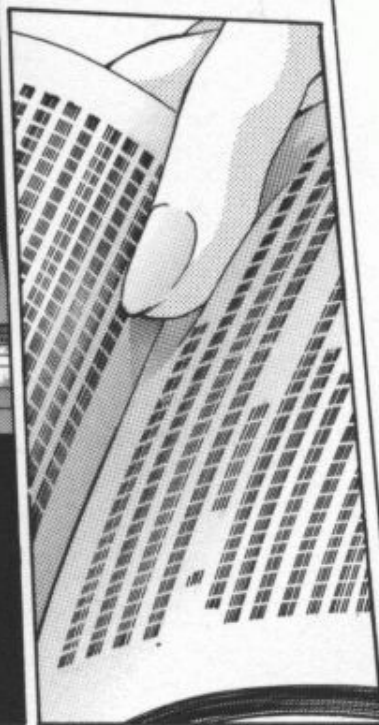
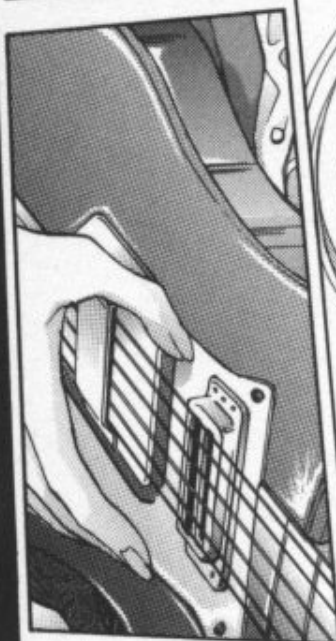
『たあいの無い
言葉を交わした』

『そんな日々が続いたある日
彼女が言いました』



黄金色舞台⑤

それから数日間
僕達はその場所に
集まることはあり
ませんでした



あたしは
何の為ここに
いるんだろう





はあ

あッ

ンゲッ

グッ

ンッ...

はあ

ンッ...あッ

はあふう...

あッ

あッ

はふッ

あッ

はあう

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

どっかの演出家が
書いてたな……

あッ
はあふ

あッ
あッ

あたしが……するトコ
……最後まで……

見ててね……

……見ててよ……

あっ…こんなに
大きいのが…
どんどん
入っちゃう…

心を開いた
状態で演技
しろつて……

あッ

はあう

ン
ツ

あッ





「数日後
いつもより鮮やかな
夕日の中に彼女は
立っていた」



「僕は何も言わずに
いつもの場所に座って
夕日に染まって黄金色に
輝く彼女の顔を見ていた」

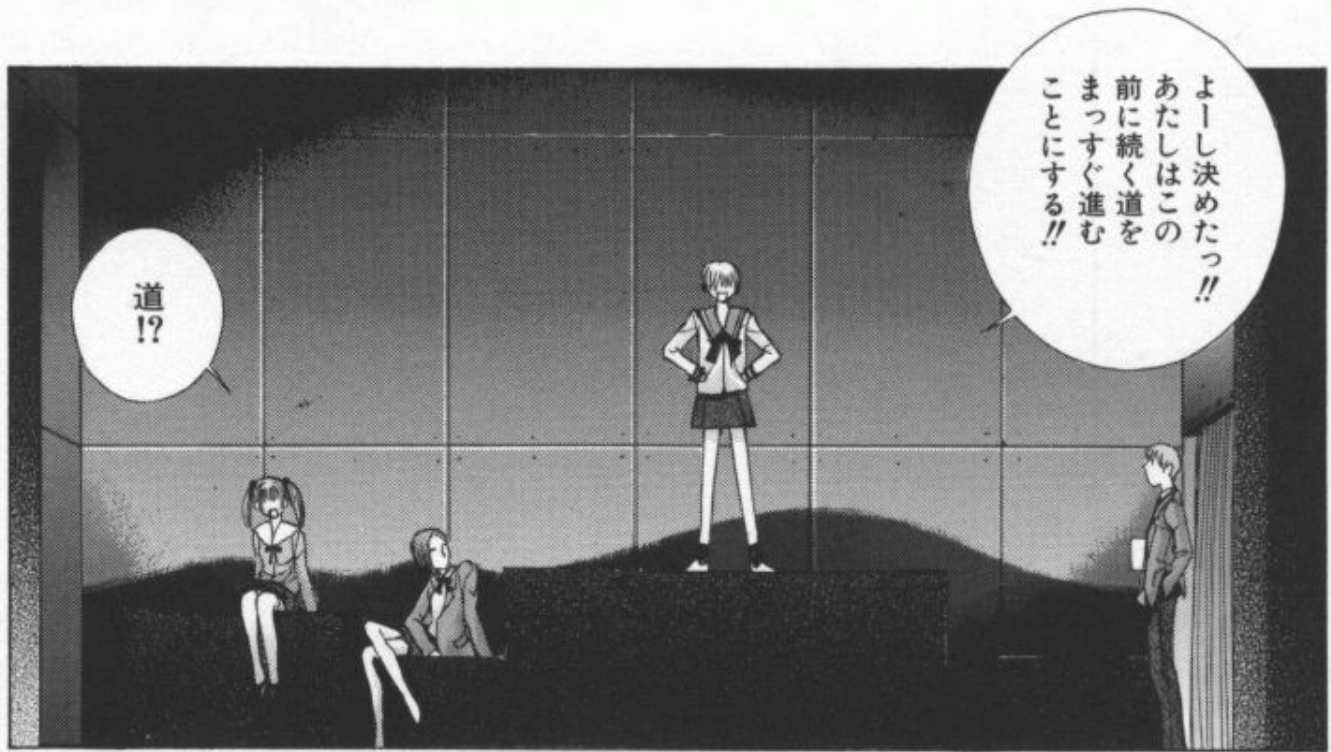


いいよオ...

あッ
あッ

先輩...

キモチいいよオ...



よし決めたっ!!
あたしはこの
前に続く道を
まっすぐ進む
ことにする!!

道!?



うん!!

きっとそこには
あたしが輝ける
場所があるはず
だから



あのねエ
この道をまっすぐ
行つたって何もないよ
あるのはコンビニと
スクラップ置き場...

学校...
...それに
小さな病院
だけ

その先には
きっとあるよ
...進めばきっと
.....

...きっと.....

「進めばきっとあるよ」

黄金色舞台⑤



『その日から僕は
そこに行かなくなった
そして僕は小説を
書き始めた』

『あとの二人がその後
どうなったかわからない
でもきっと何か
始めたんだと思う』

それから彼女は

あッ

はあう

いっ
イツちやう…

また…
イツちやうよオ

いっばい…
出ちやうよオ…

あッ

あッ
はあん





あつ

はあう

あつ...あつ

奥に...どんだん
奥まで...入っちゃう
.....

はあ

ああッ

あつ...
あふれちゃう...

さっきの精子が...
出てきちゃうよオ

コポッ

コポ

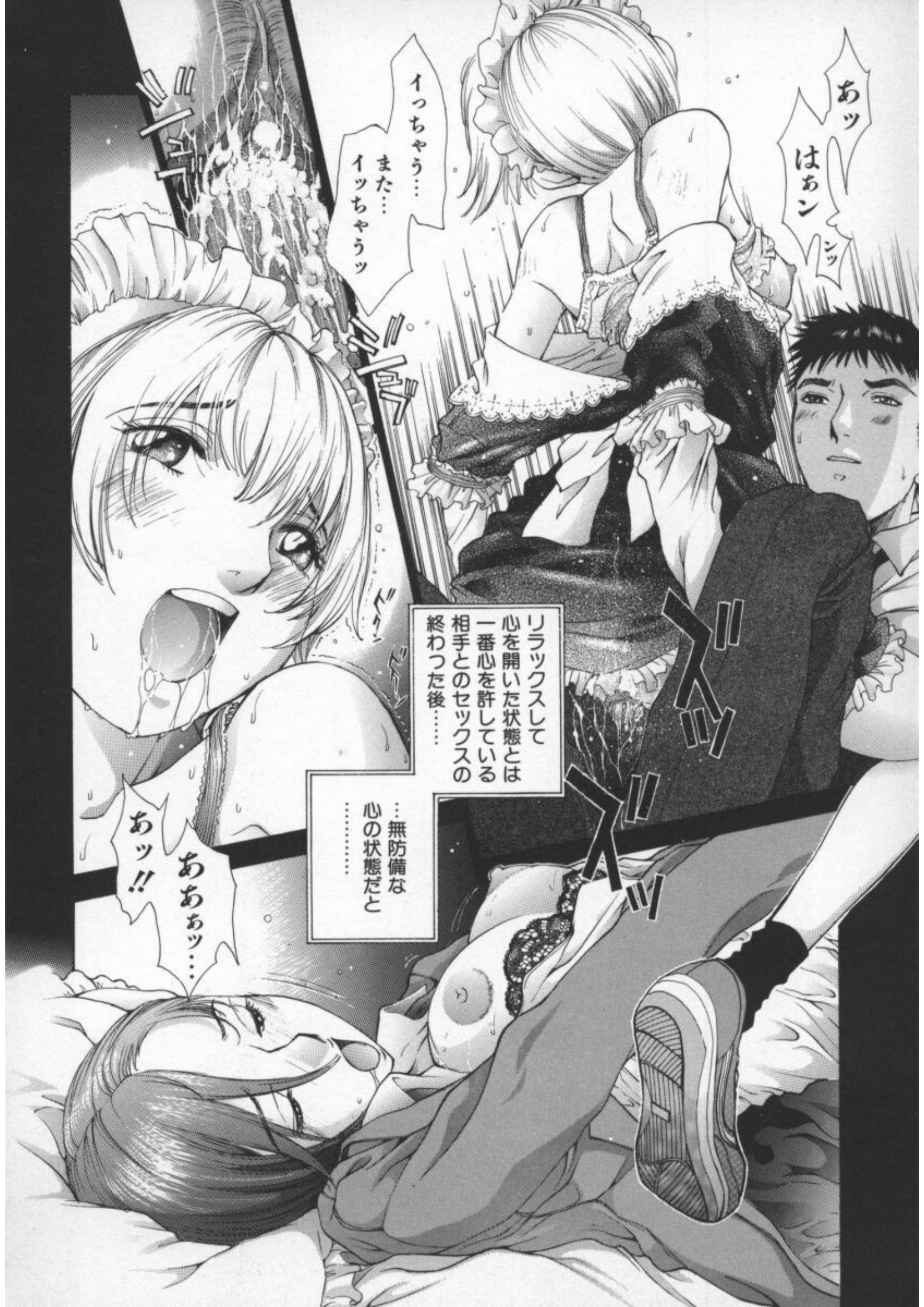
あッ
はぁン

いつちゃう…
また…
イツちゃうッ

リラックスして
心を開いた状態とは
一番心を許している
相手とのセックスの
終わった後……

…無防備な
心の状態だと
……

あッ!!
あああッ……





そして
心が無防備に
できる場所に
いる時…

野島くん…
きてエ…

いっぱい…
そそいでエ…

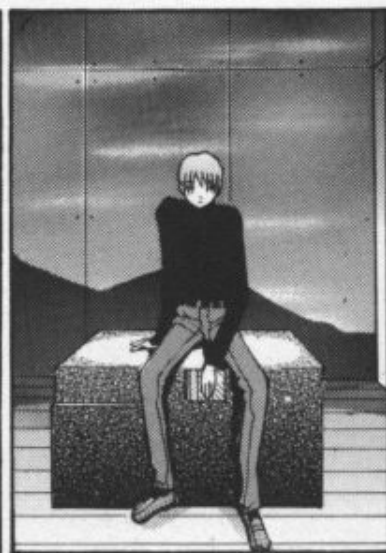
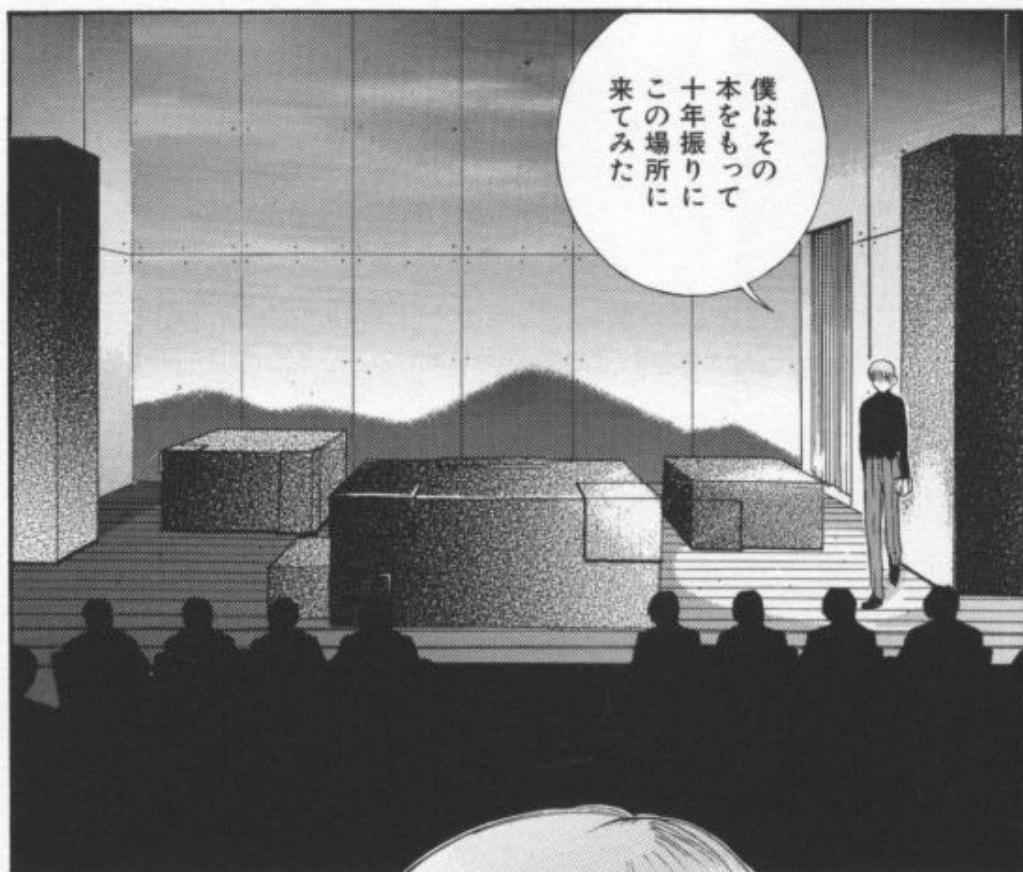
あッ
はあう



人間はきつと
黄金色に輝いた
美しい顔になるん
だと……



『10年後僕は一冊の小説^{は小説}を出版することができた』

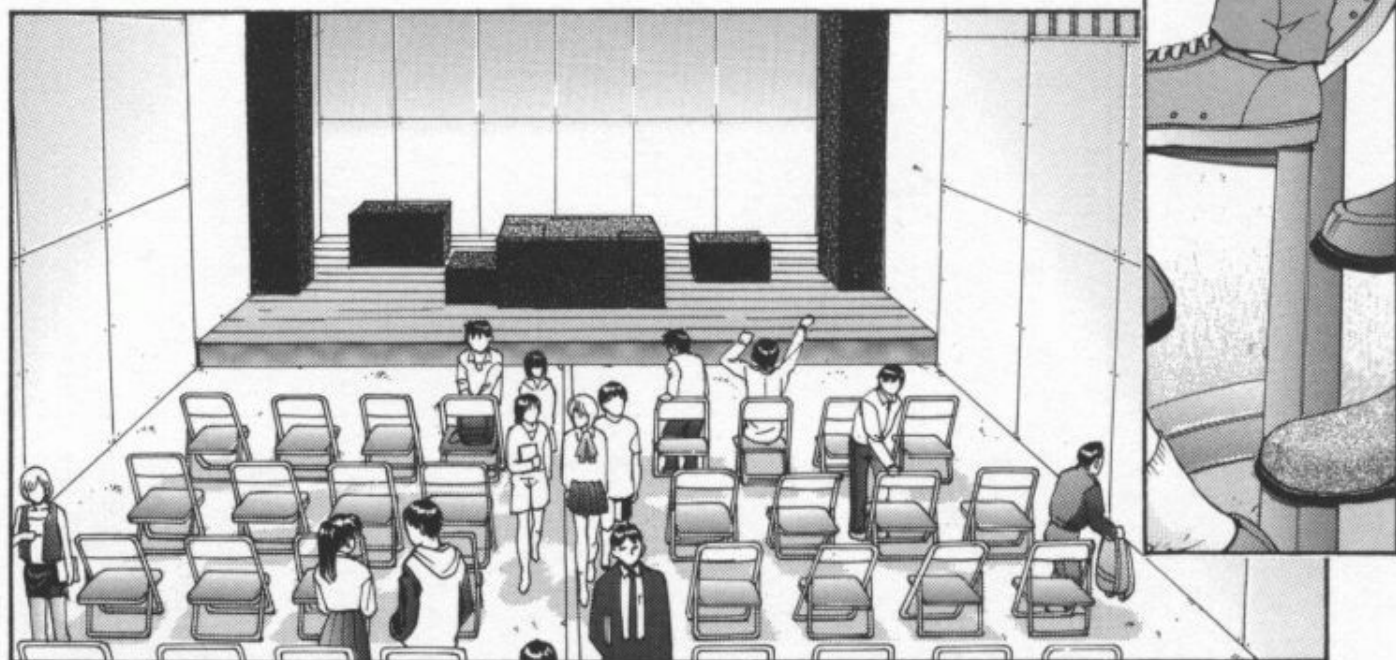


—彼女は美しかった

自分の道に
走り出した
彼女の顔は
黄金色に
輝いていた



僕は彼女に恋をしたのだ



黄金色舞台⑤



どうだった!?
燃やし損ねた
舞台は!?

.....



お前も
ただのレイプ
放火犯じゃ
なかったんだな
.....



台本はともかく
役者は素人にしては
リラックスした
状態で舞台上に
立てたと思うけど!?

本当にそんな
ことしか感じ
ないのなら
お前の目は
節穴だ



テーマを
追い過ぎてる
典型的なダメ
高校演劇だよ

全然
ダメだな
.....

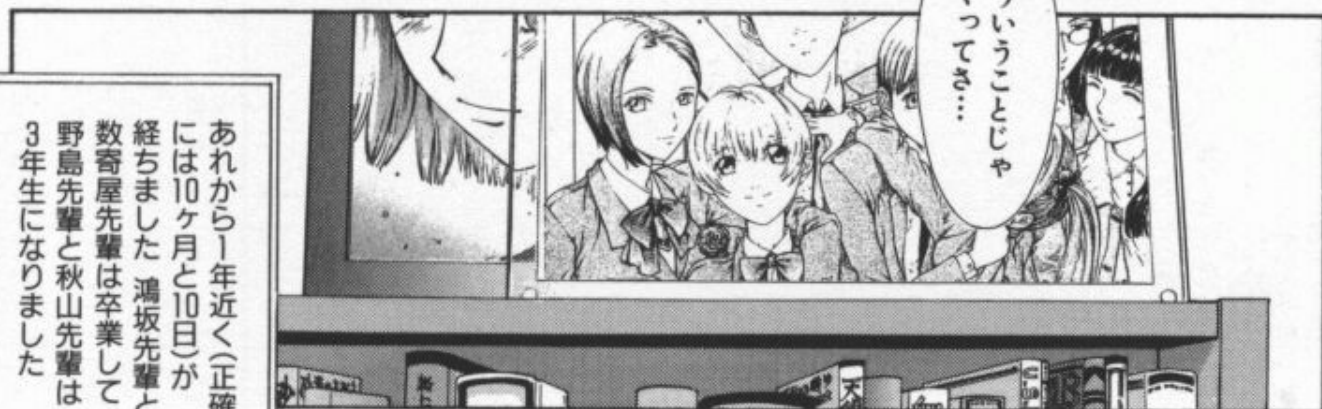
彼女を最初に
見つけたのは
俺だからな……



お前だって
わかってるだろ
……

ここは彼女の
舞台じゃない

黄金色舞台⑥



あれから一年近く(正確には10ヶ月と10日)が経ちました。鴻坂先輩と数寄屋先輩は卒業して野島先輩と秋山先輩は3年生になりました。



第27話



そしてあたしは
2年生になりました





あッ
ンハッ



はあッ

あっ…
てちゃう…



いっばい
あふれちゃう
……

ギョッ
ギョッ
ギョッ



あッ
あッ







…あったかい…

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
3	4	5	6	7	8	
10	11	12	13	14	15	
17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29



あのね…
舞台上上がる
役者はリラックス
してるのが
基本だよ

大切な日の
前日にこんな
ことしてて
いいのかな…



鴻坂先輩が
教えてくれたの



舞台って…
…何それ!?

何とかっていう
演出家の人
が言ってたこと
らしいんだけど



— 恋人と
2人きりの
無防備な心の
状態 —

たとえば
今みたいに
エッチした
後…



四方を壁に
囲まれた場所
あたしが先輩を
見ている時



一方の壁が
音もなく
ゆっくりと
外側に向かって
倒れ始めるの…

そして
倒れ切った壁の
向こう側には
何百何千という
観客がいるの



そしてあたしが
ゆっくりとそっちに
首を回し始めた時

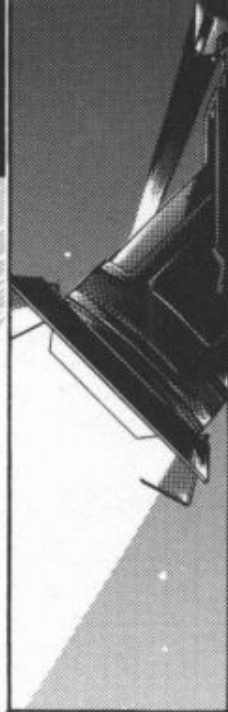
あたしの心が
先輩を見ている
気持ちのまま

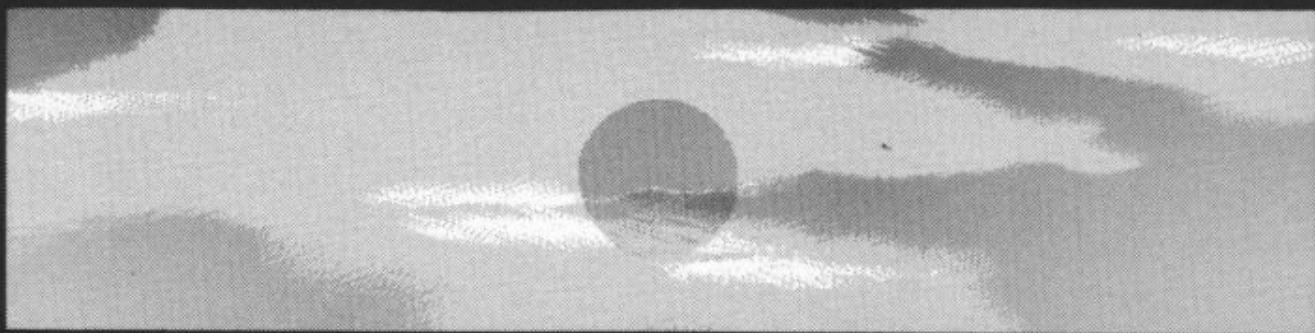
何百何千の
「観客」に見つめ
られた時
あたしの心は
リラックスして
るんだって



その時の心だけが
「開いている心」の
状態なんだって









ごくろう
さん



おかえり
なさい

あつ
おかえり
なさい

おかえり
なさい





3日間
ご苦労様

みんなのお陰で
いい舞台が
出来たと思う



100人以上の人に
見てもらうことが
出来たし…

俺達の最初で
最後の舞台として
本当に満足出来る
ものになったと思う



あ…あの
最初で最後の
舞台って…





知らないのは
あたしだけだった



…そんな…
急に言われても
……

やっと部として
認められて
せっかく演劇
始めたのに…

いまさら
向こうと一緒に
なるなんて……



向こうの部長は
君の入部は
認めないって
言ってるよ

え!?

何かのかわりに
演劇やってる人を
入部させる気は
ないって...

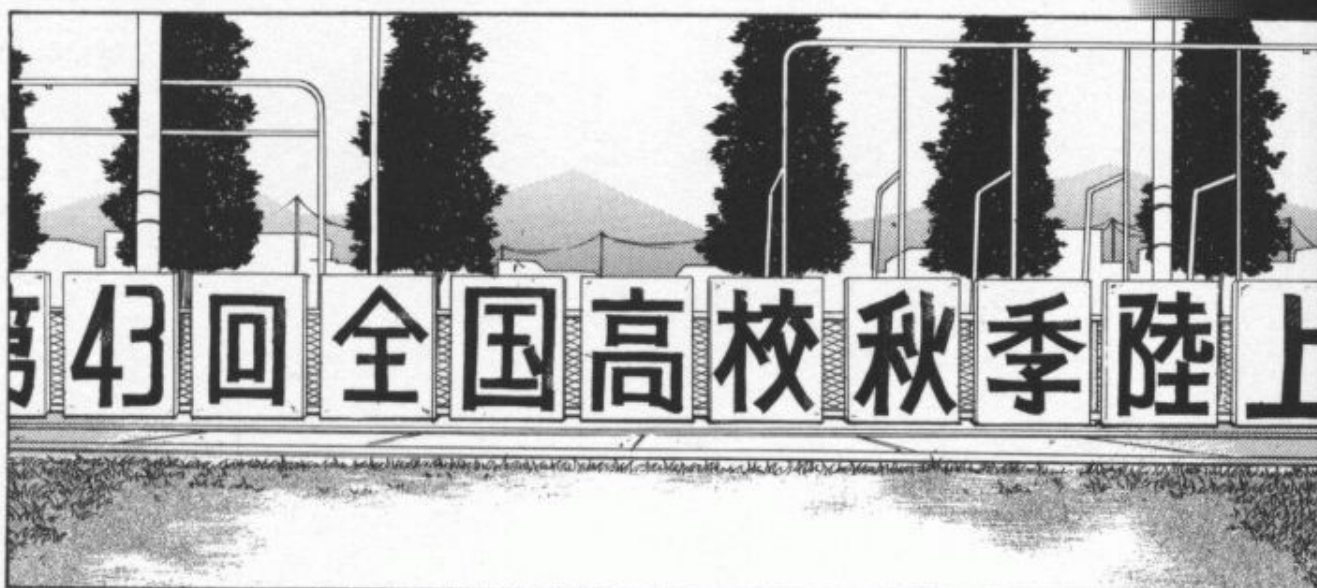
.....
あたし そんな
つもりは.....

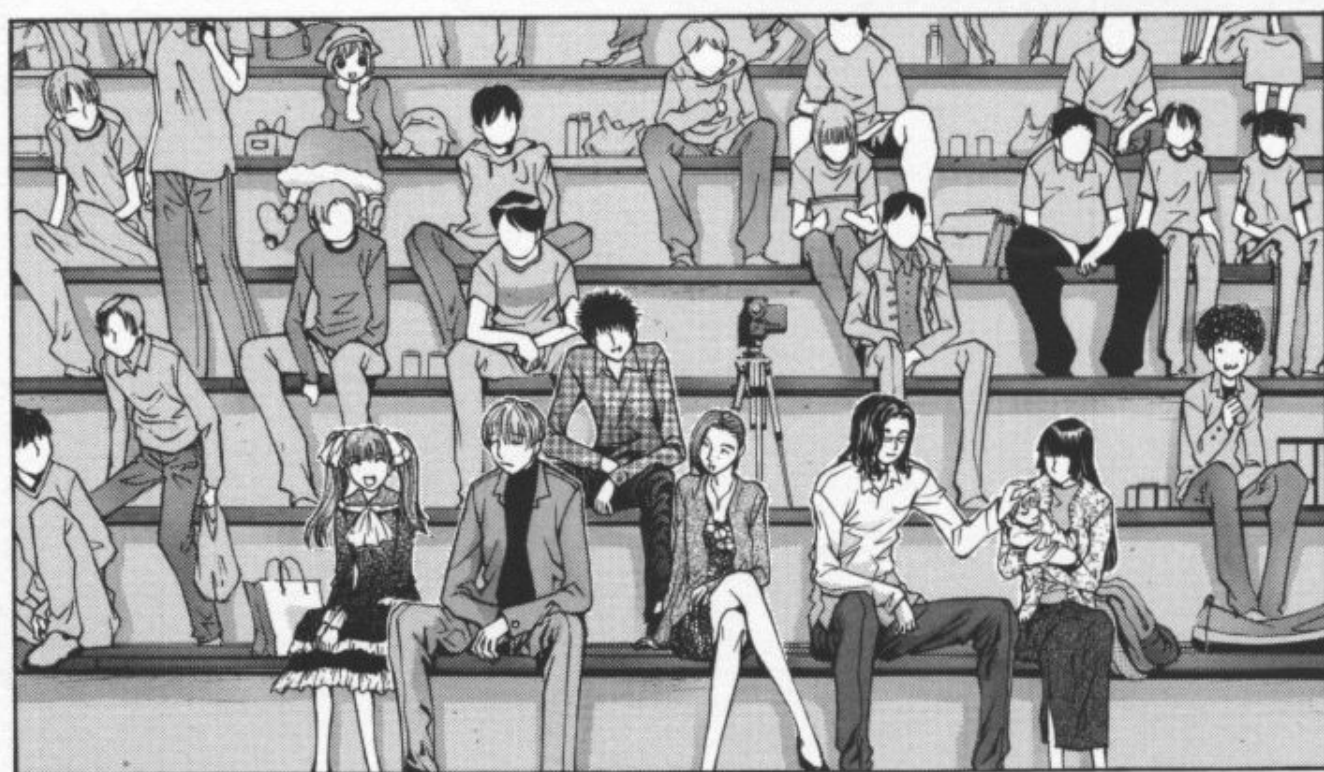
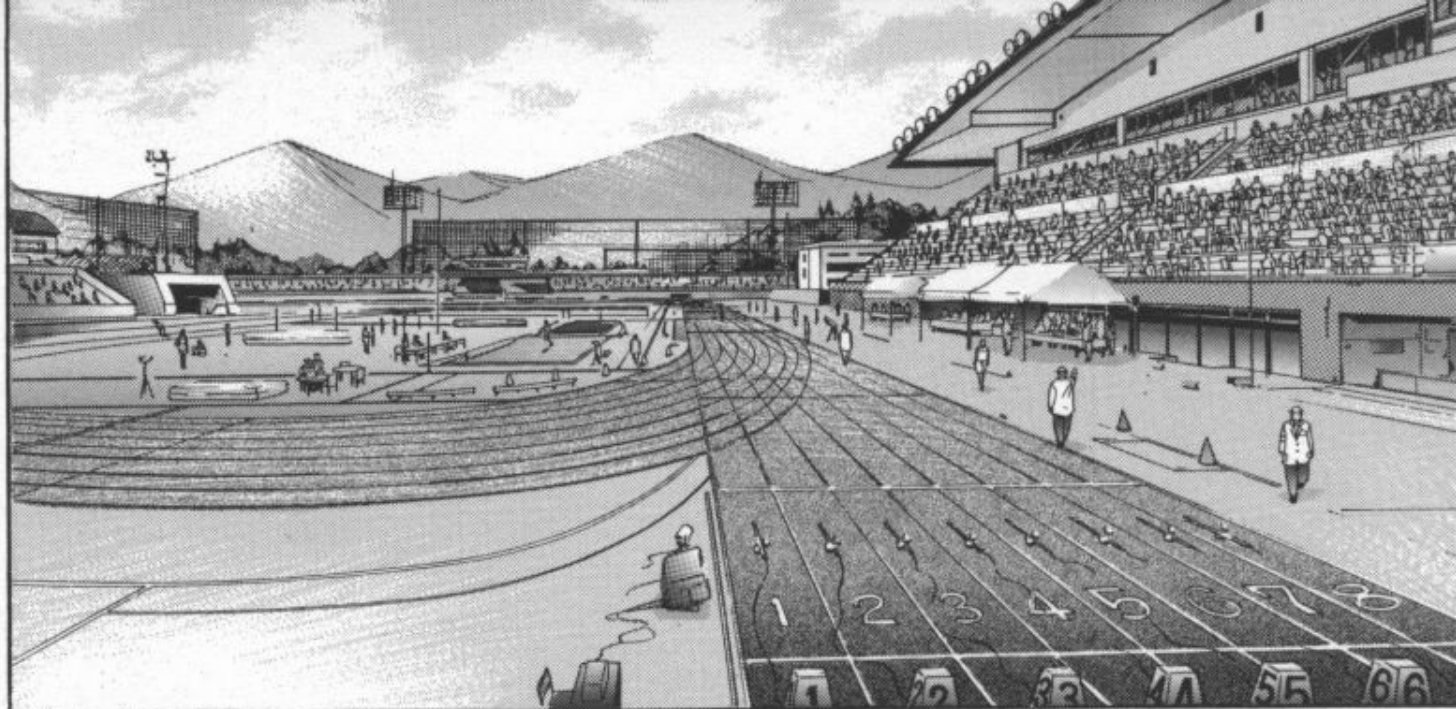
どうして君が
演劇を選んだのか
わからない...

でも 演劇部は演劇が
好きな者の場所...
演じることで輝ける者
演じることでしか輝け
ない者の場所.....

ここは君の
場所じゃない
.....

キミが本当に
輝けるのは……





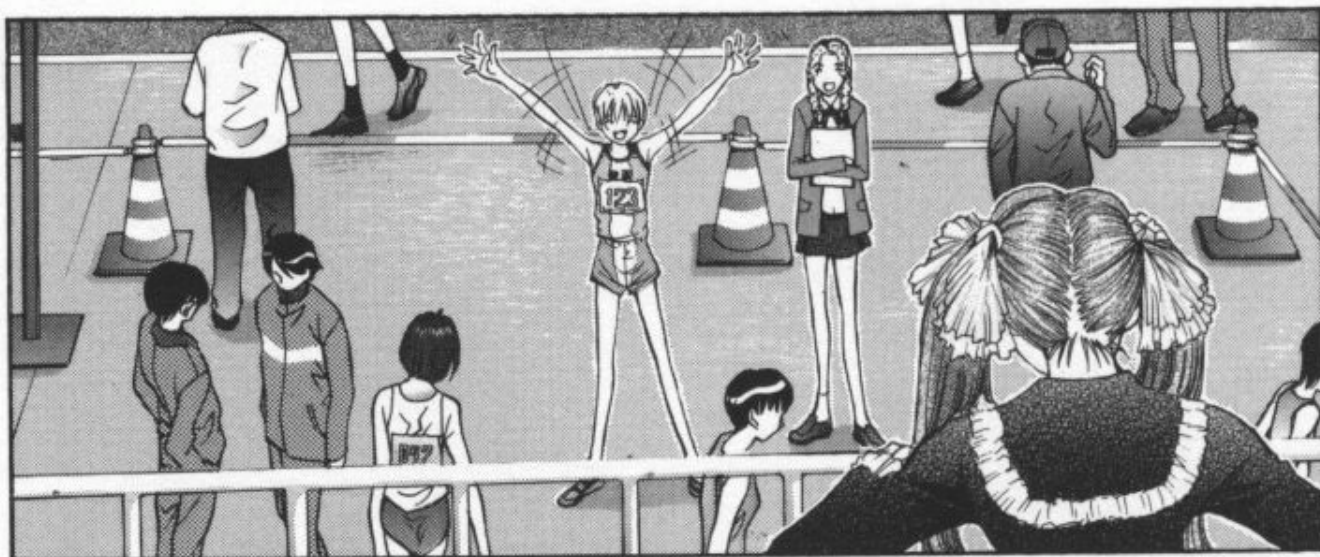
はあーッ



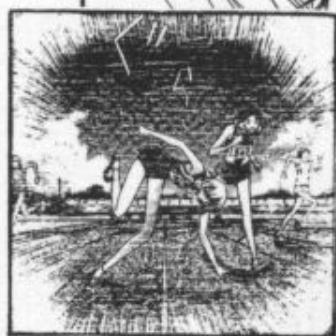
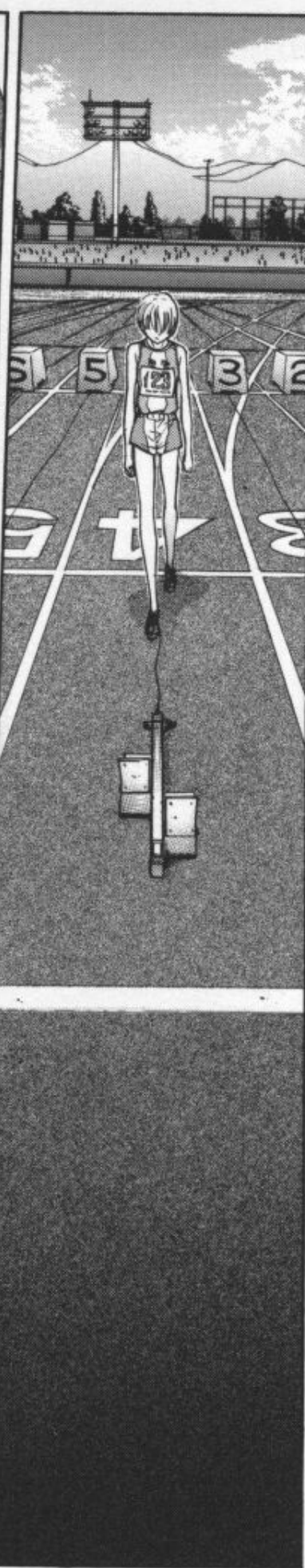
うん
ありがと

ガンバってね

みんな……



黄金色舞台⑤

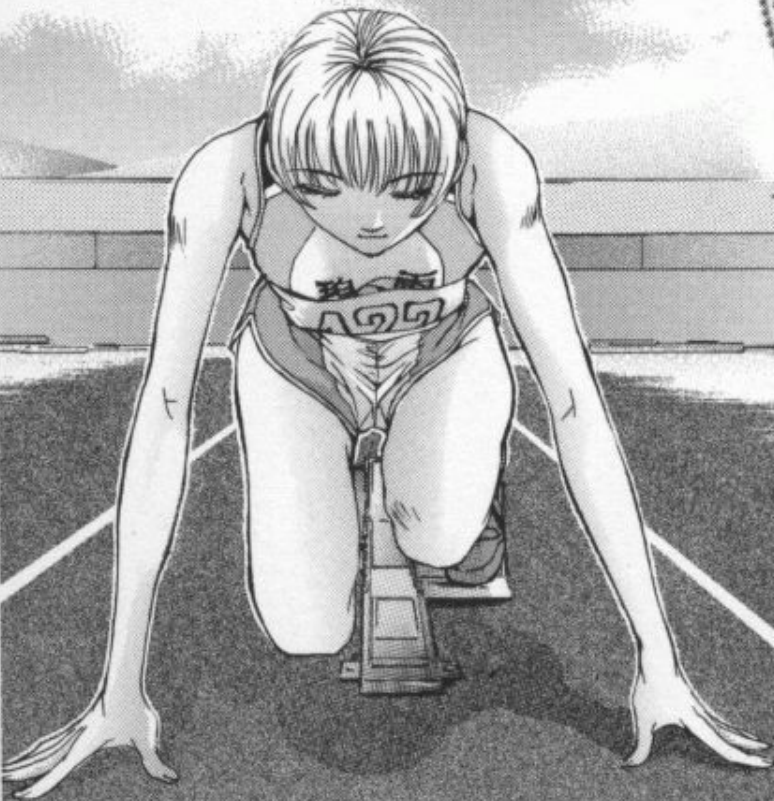




On Your Mark

ナ
チ
ヤ

稲穂…本当に
いい顔して
るわね……



黄金色舞台⑤



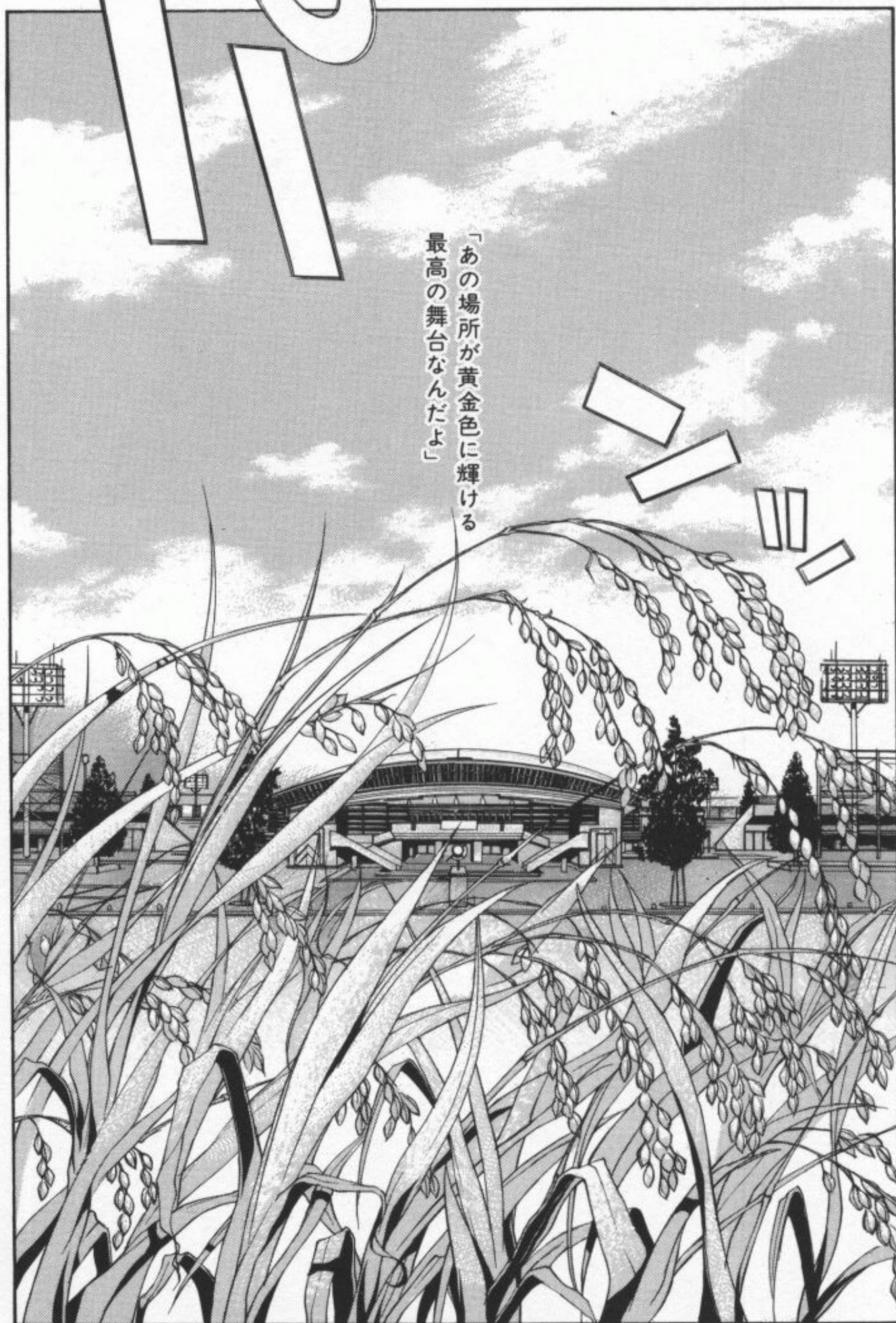
Get Set



ああ…

あそこが…





Works



KOGANEIRO-BUTAI

①

黄金色舞台25vor. 4

文化祭が始まる。校門のところにアーチがかかって居る。
学校中が展示物や販売店などのお店などで賑わっている。
そのころ福雄はトラックを走っていた。それを屋上から見ている福坂。

福坂の回想
校長室
校長「・・・ああやう事件が起こったのもやはり同じ部が二つ有るのが原因ね」
福坂「はい・・・ま、彼奴の人間性が一番問題ですけど」
池澤「部室の規模、部員数を比べても私達の方に吸収するのが妥当だと思うんですけど」
福坂「舞台が小屋の大きさで決まってるのか・・・」
池澤「そんなこと言っても無いでしょ、普通に考えて・・・」
校長「勝負しましょう。」
池澤「勝負？」
福坂「・・・」

場面転換 回想終わる
上っている福雄のところに雲がやって来る。
そして場面転換
福雄が驚いている。
ミス管理の案件結果が載っている紙を見せられる。
福雄「えっ・・・知らないよこんなの・・・」
英「知らなくてもいいから早くお店のウェイトレス手伝ってよ！」
福雄「えっ、でもあたし準備担当だし・・・」
英「何言ってるのよ、今日ウェイトレスの予定だった野上さんが休んでるんだから・・・それにミスコン上位のウェイトレスがいるだけで売上が全然違うのよ」
福雄「上位だって・・・」
英「・・・この学校に何人の女生徒がいると思ってるの？」
「選ばれた者には義務と選ばれなかった者からの嫉妬が付いて来るのよ・・・」
場面転換屋上に戻る

今回は、最後という事とページが大量にあまってしまったという事で、「黄金色舞台」のできるまでを、載せてみることにしました（ハ、ハズカシイです・・・）。

本当なら、始めから終わりまでの行程を、同じ回のところで載せる方がいいんですが、字コンテや絵コンテは下書きができたところで「手書き紙」にしていってしまうことが多くて、あんまり残っていないんです。でもまあ流れは分かると思うので、これで勘弁して下さい。

・僕はまず「字コンテ」①から入ります。

ここで話の流れとかセリフとかを決めて大体のページ割りをします。

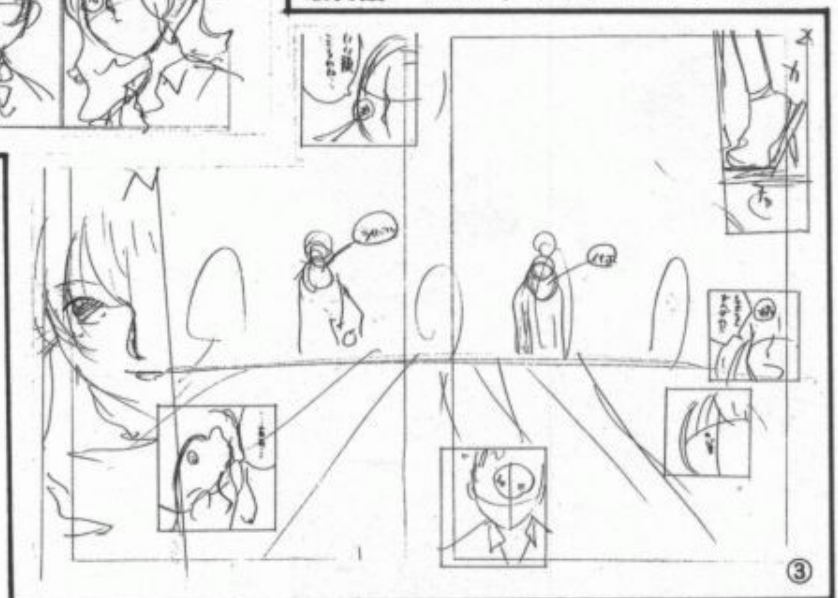
ここで、予定より多くなったり少なくなったりしてくるのでネームを直したり削ったりします。



・次に絵コンテ②、③を描きます、始めに書いた字コンテにそってコマを割っていきますが、大体予定通りにはいかないので、ここでもネームの直しをしたりします。

最終話 16P、17P 24P、25P

絵コンテ



・次に絵コンテを見ながら下描きを描きます。

あんまり絵が上手ではないので、絵の練習も兼ねてできるだけしっかり下描きは描きます。

・そしてペンを入れます。

ペン入れが終わったものから「ベタ」と基本トーンを貼っていきます（基本といっても、毎回けっこう違います）。



・基本が終わったら「トーン指定」をします。

指定はコピーしたものに色ペンでトーンの番号やグラデーションの方向、バッグの処理などの指定を書き込みます。

・そして、それをアシさんに貼ってもらって完成となります。



〈完成〉

〈下描き〉



〈トーン指定〉



色ペンで指定するのでかなりカラフルなものになる。カラー原稿より、味のある感じもする。

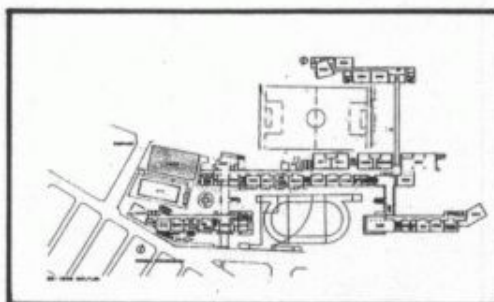
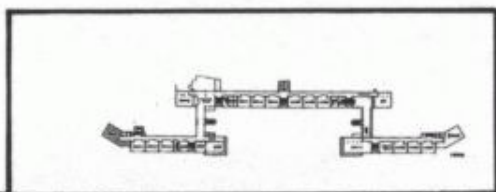
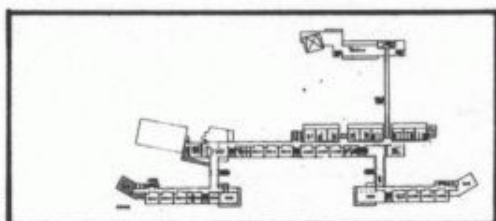
・以上が「黄金色舞台」での原稿の作り方でしたが、色々な理由でたくさんの人を使って原稿を作る事ができなくなったので、これからはこういうやり方は無くなってこれだけ大量のトーンを貼り込んでいくことは無くなると思う。

背景

この作品は、とにかく背景と
場所の設定を大量に描いた
作品でした。
僕のマンガを手伝ってくれた人は
全員、僕より上手な人だったので
背景は全部アシさんに描いてもらって
ました。



〈学校〉



・この学校平面図は色々な本の平面図をつぎはぎして作りました。

・こういう建築製図っぽい指定は自分でします。

僕は基本の設定をしたり写真や資料を
そろえるのが仕事でした。

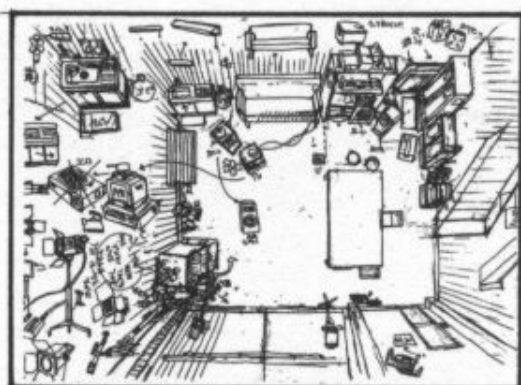
基本設定のうちでも、小道具などの

配置や設定は、ほぼ100%

〈ゆきる〉氏にやってもらってます。



〈部室1〉



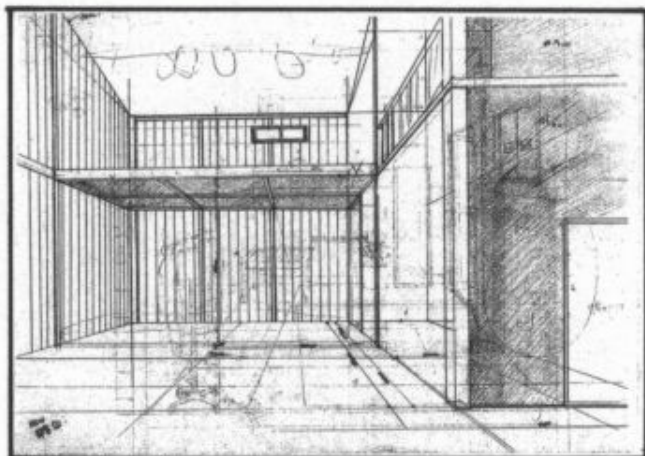
・〈ゆきる〉氏はこういう設定を、ほとんど
資料無しで、作ってしまうスゲー人なのだ!!。



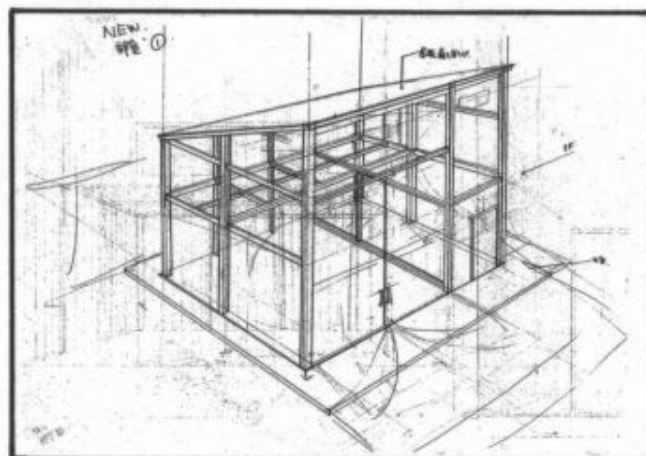
・こんな所まで
考えてもらったのに
全然使わなかった・・・

・新部室の設定は特にいっぱいあります。
 後半はとんどがここでの話しだったのと、
 この頃アシスタントさんのメンバーが
 少し替わって、(ゆきる)氏が
 あまり来れなくなってしまって、
 自分で設定をしなければならなくなったので、
 頑張って描きました。
 とは言っても、舞台の小道具・大道具の
 設定は(ゆきる)氏にやってもらいました。

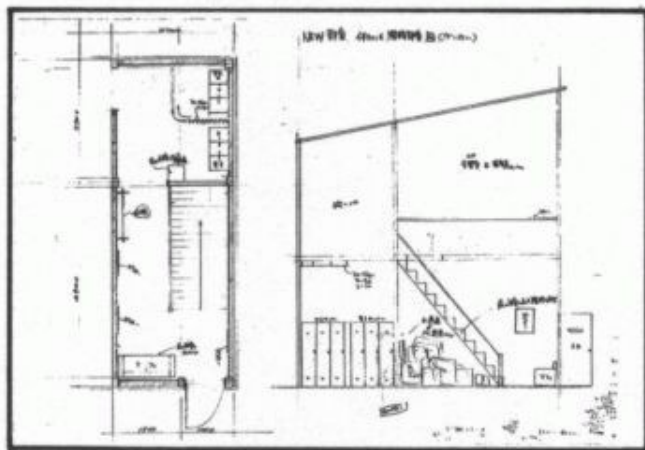
〈部室 2〉



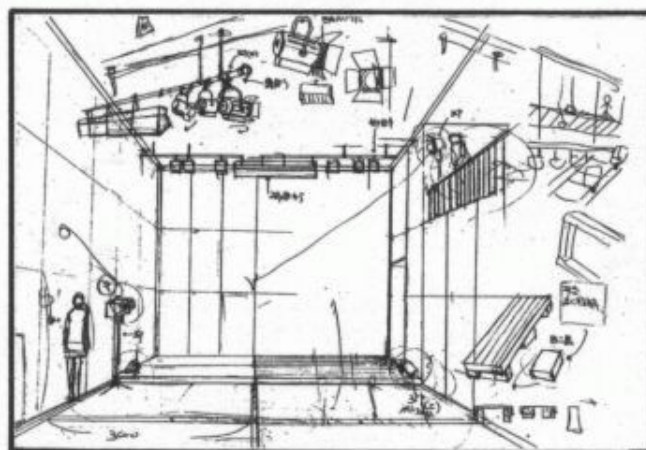
舞台 (一部変更有り)



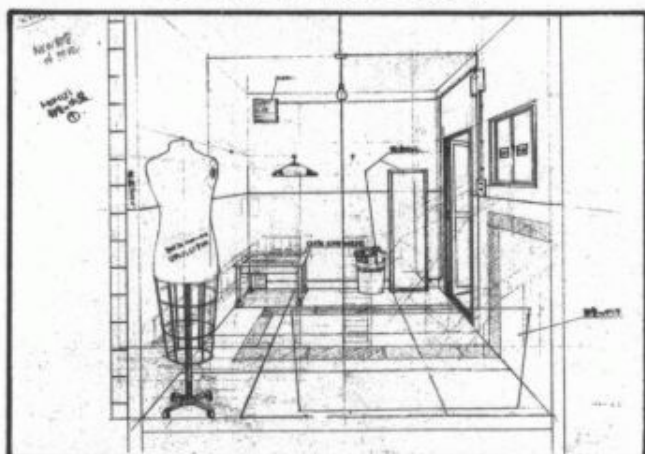
NEW部室 (軸組図)



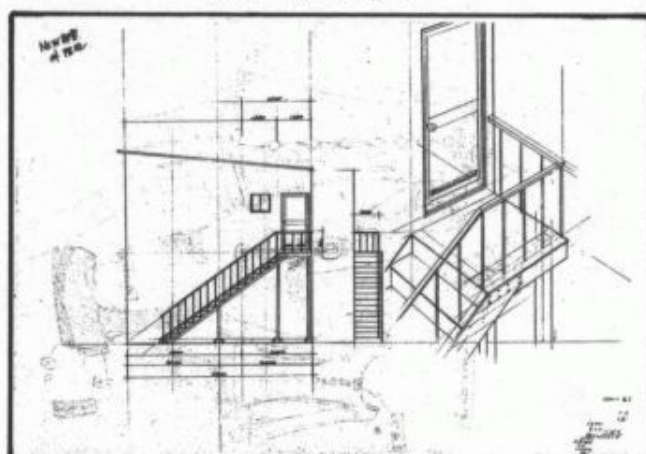
部室 (室内平面、立面図)



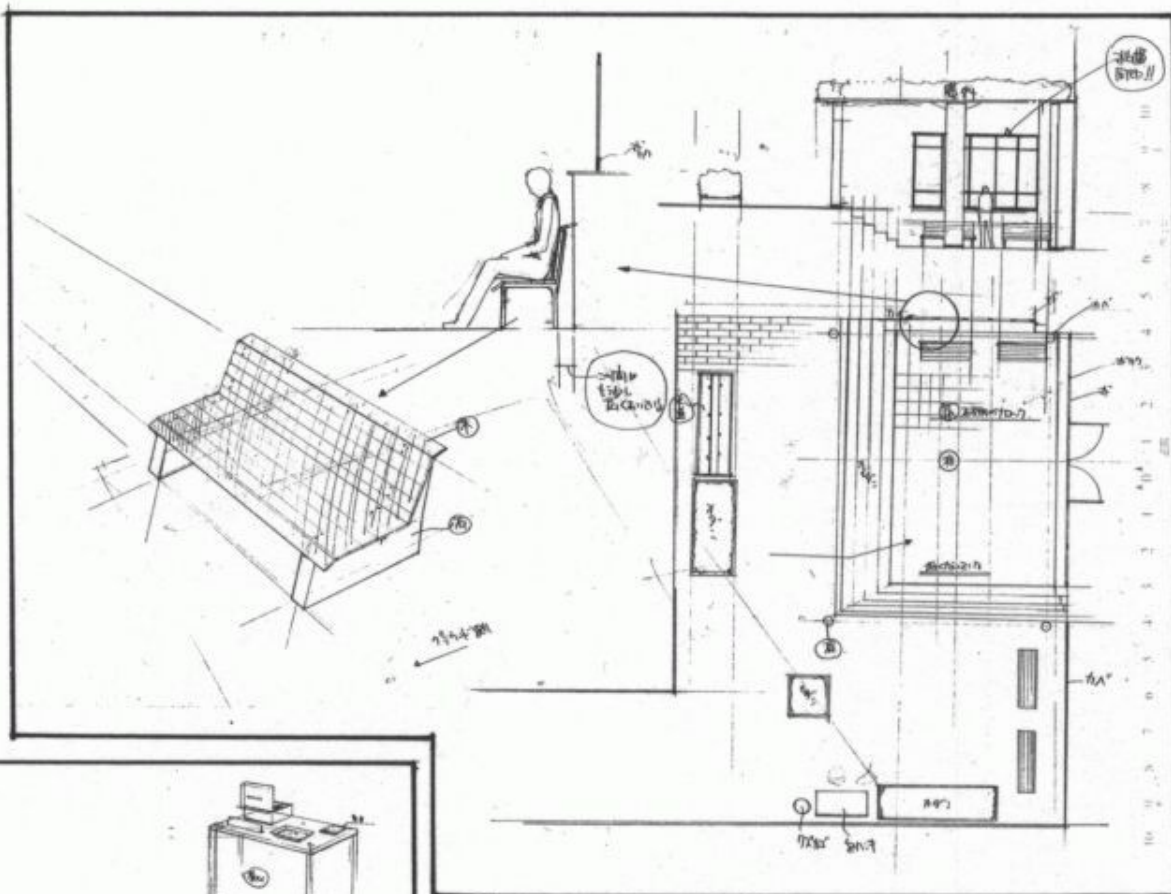
舞台 (照明設定)



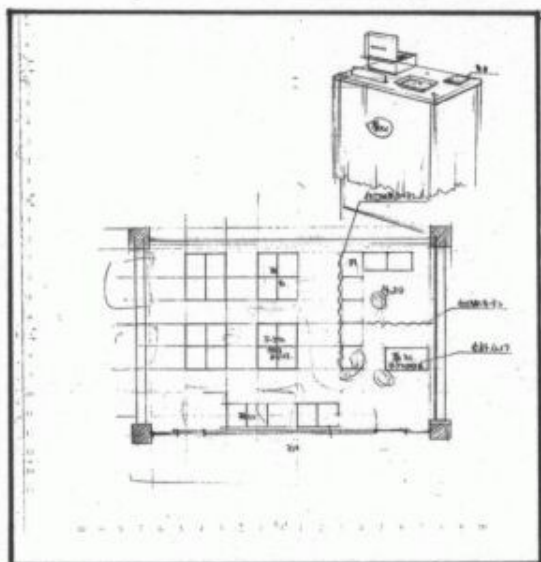
部室 (奥 2 F 花の部室内装)



外階段

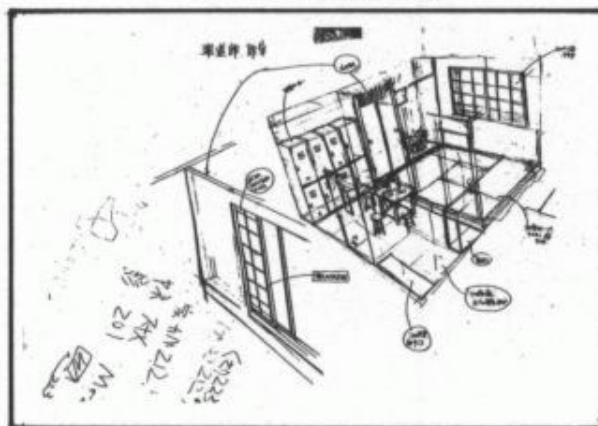


第16、23話 中庭

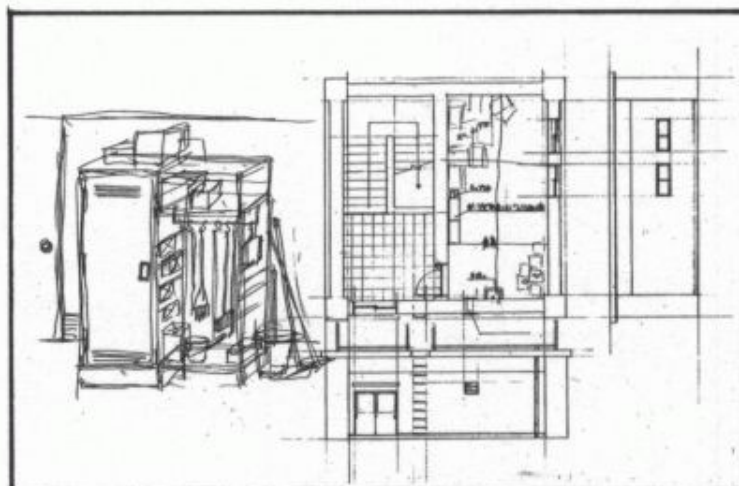


第25話 文化祭の稲穂の教室

第5話 華道部部室

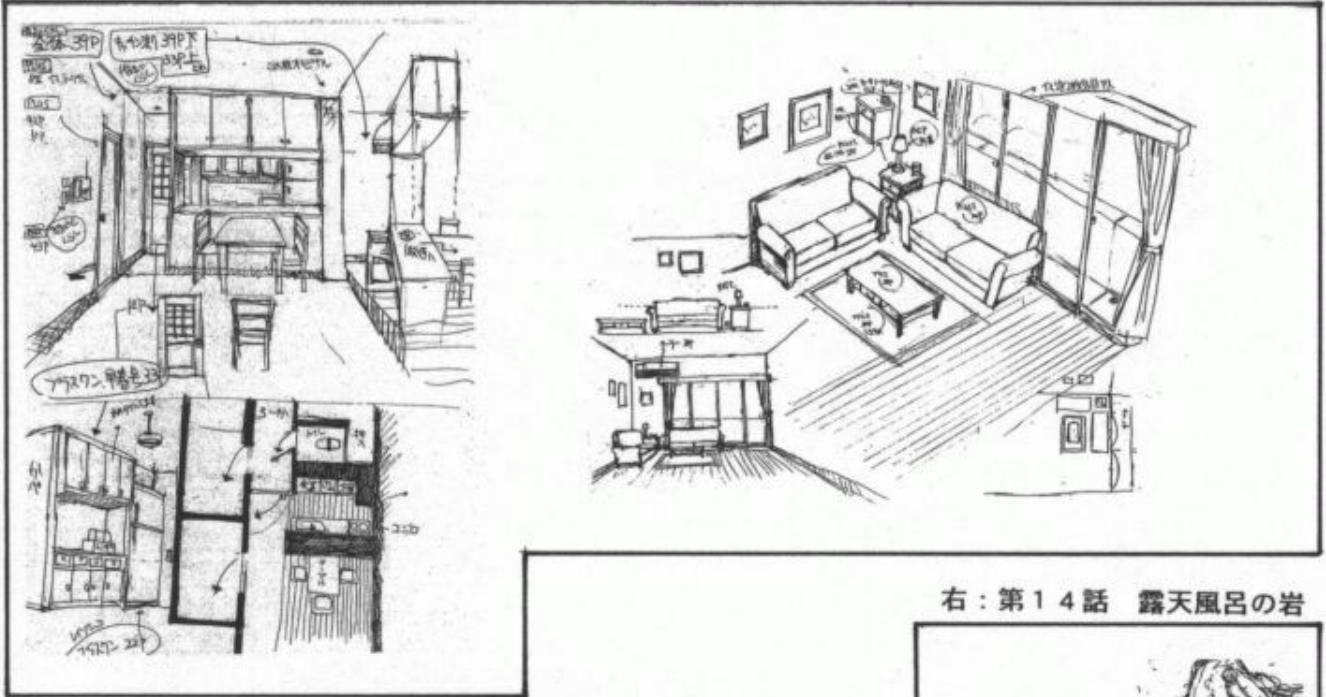


・第16、23、25話などの
話しは、場所の設定より
柊や稲穂のコスチュームの
設定をするのが楽しかった
です。
そのおかげでトーンを貼る
のが死ぬかと思うほど
大変でした・・・。
あーいう服とか描くの
好きなんですけど、
めんどくさいわりに
読者さんには人気
が無い様で・・・。
でも一部で人気あるから
またいつか描いちゃう！！。



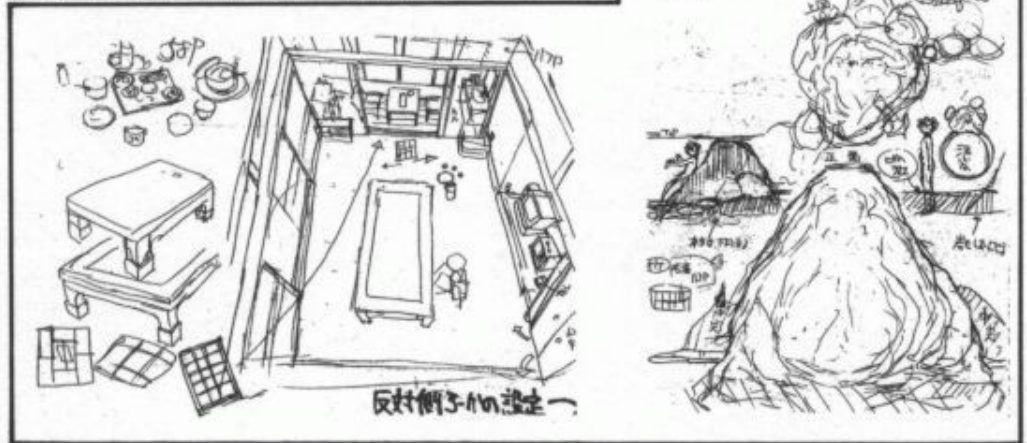
第21話 屋上の備品室

第17話 葵のマンション



左：第12話 温泉旅館（亀の間）

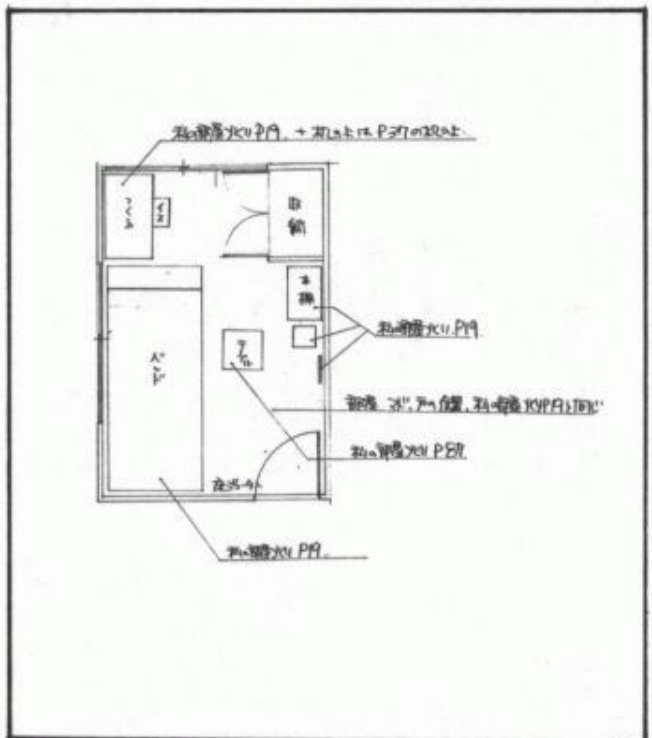
右：第14話 露天風呂の岩



第17話は部屋の設定を
（ゆきさ）氏にまかせて
僕らもっぱら（占い）と
（編集）（編集）の本を
読んでいました。

第12、14話などの3巻目に
載っている話は、その後の
話に大きく関わるはずの
ところだったんですけど・・・

〈おまけ〉稲穂ちょー初期設定



第22話 稲穂の部屋

あとがき

というわけで「黄金色舞台」はこれで「終り」です。

約2年半というエニチマンガとしてはとても長い連載になりました。

この連載は自分にとって本当に反省し、勉強するべきことが多いものだった。

最後まで読んで「これみなさんに対して大切なことを書くのはどうか」と思いますが、特に反省する所は、
主人公のストーリーの初期設定です。

連載を始める前に時間がたっていること、しかし設定をXな部分の2ヶ月前のX-1があとに
いって、2ヶ月前に行っている、その結果、いろいろなXな所が出来てしまったために未消化で系争の
（未了所）（自的にも読者の自的にも）が、ないあるのが残念です。

でもまあ、ストーリーかんして言えな「始め」思っ「て」もの「に近い終り」が「出来」の「とある」と「満足」
します。絵上からいって、自分の上は「おぼろげ」な「満足」する「回」が

あすのど良から思ひあふ。(連載が終つたあと、いづれは人に絵が
タツにふたどが昔ながら良から言ふに落ちとみまひ日か……)

連載初期、途中、そして終ったときにもあまり良いとは言えない
ところがあり、うばマコが「おれは、おれでもう一回おれをみかへ

「あなたがいまこのマカを飲んでくれば
みんなのおかただ」と本当に本当に思っています。

これからと云ふのあいだに「読みたい」と「描きたい」もの(描きたいと云ふ)のあいだに、今まで「描けなかった絵」や「話したくないこと」を「描き」ていきたいと思っております。

その為になんか絵が変な話かきこえない(今更になんか...)

あと思いますが、いろいろやるのか 安定とかマネイ状態に
なりたい方達だと思ってるぞ" じれがたお母さんが目、広いところ"

読んで「もらえたらいいな」と。

アシタトさんや編集さんにも本当

苦勞をかけた大変な連載でしたが

この「も」は「利権種」を指すといふと

思った少し寂しいです。

でも、そろそろこの辺で"本当に"

「黄金舞台」も終了した

いと思います。

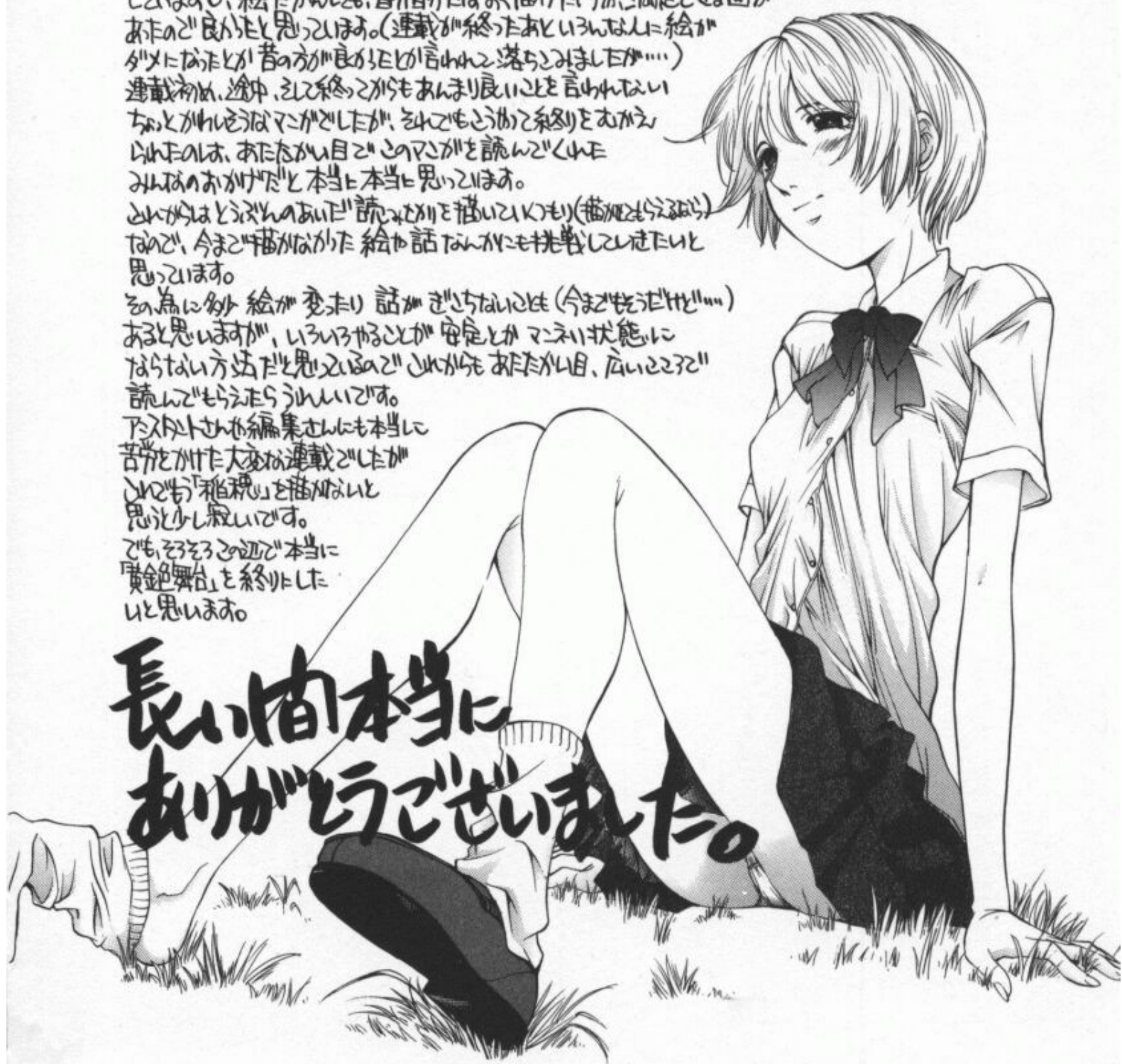


飛力

和自

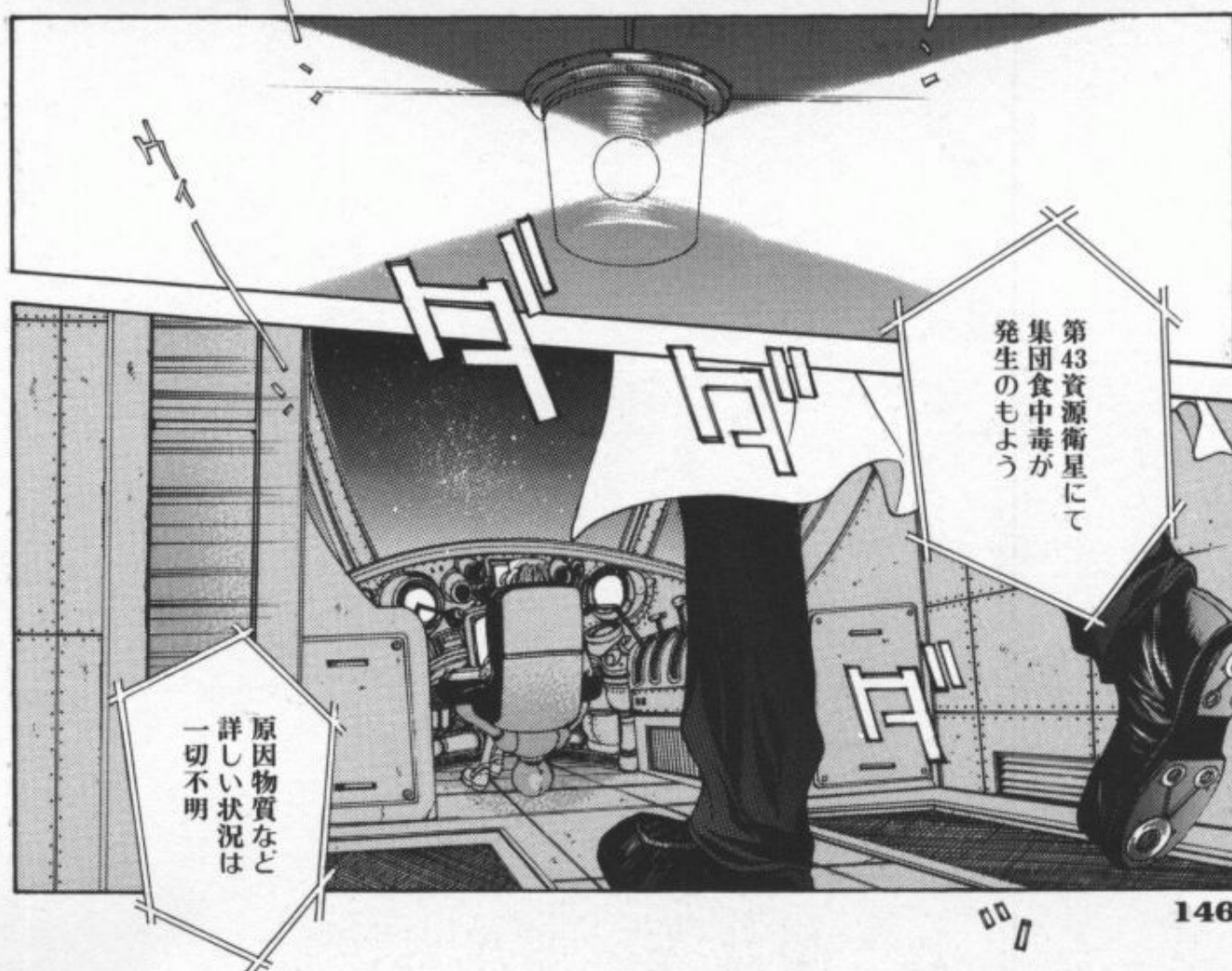
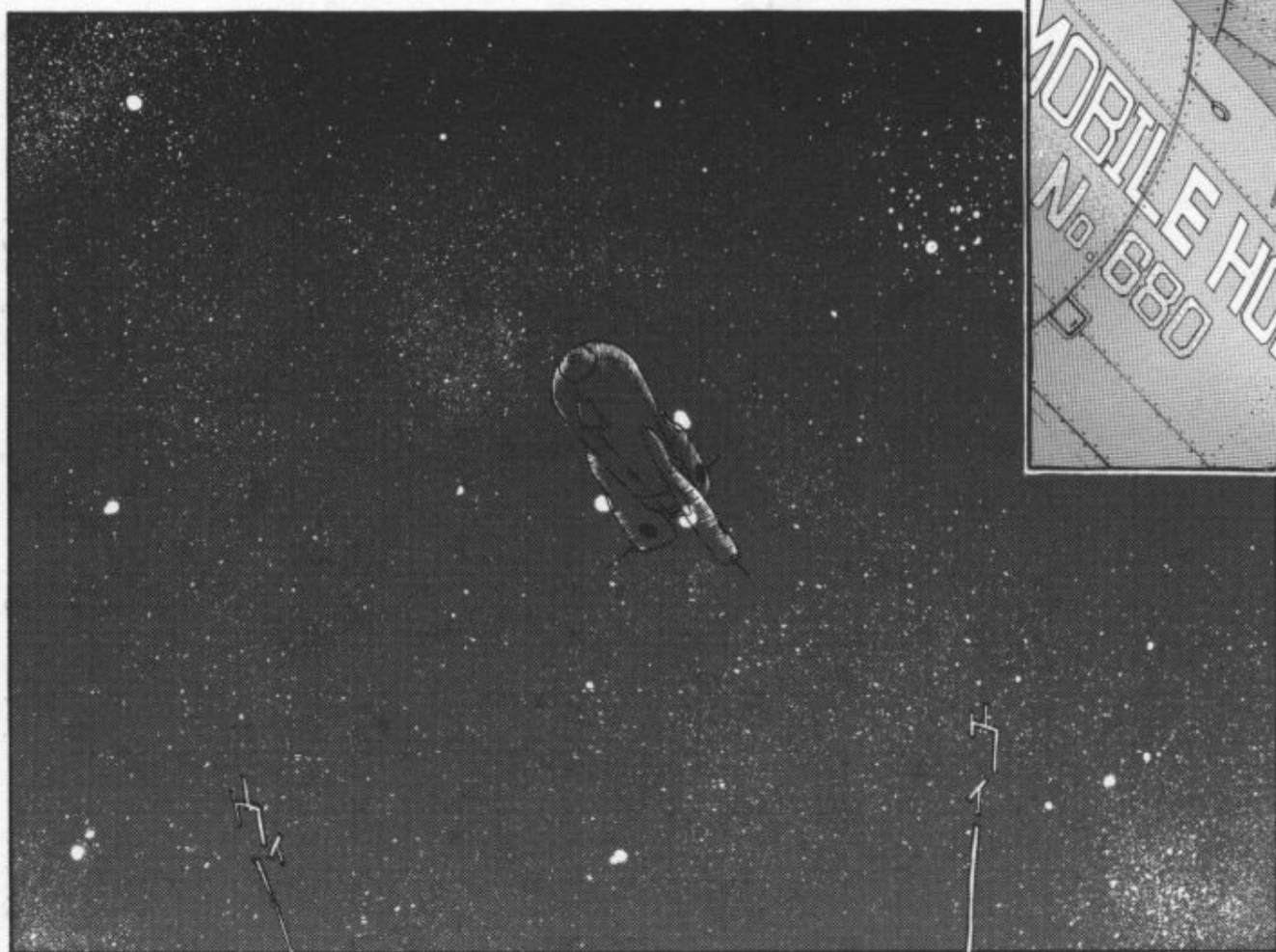
张伯

長い間本当に
ありがとうございました。



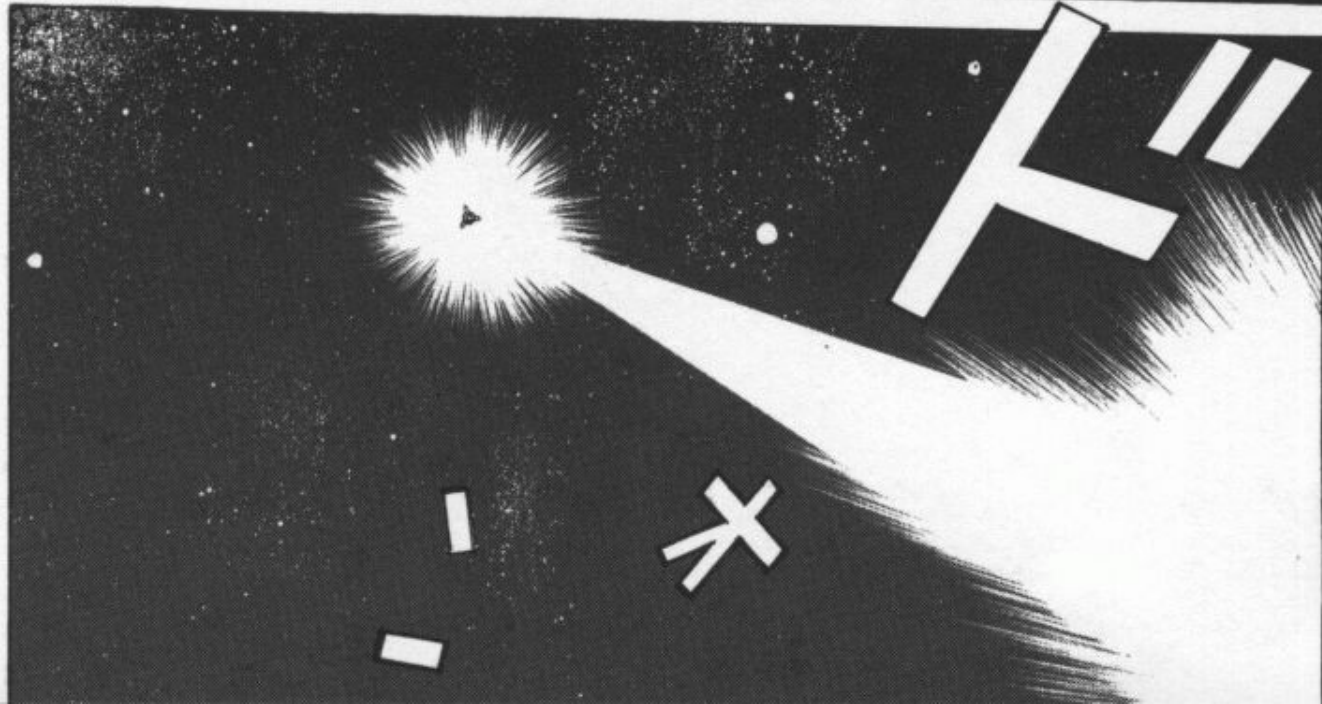
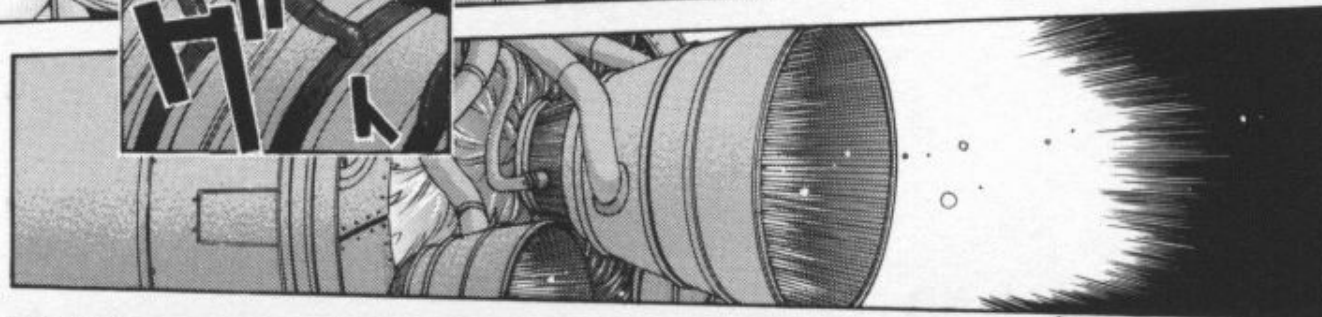
天使のお仕事

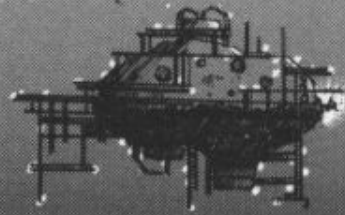
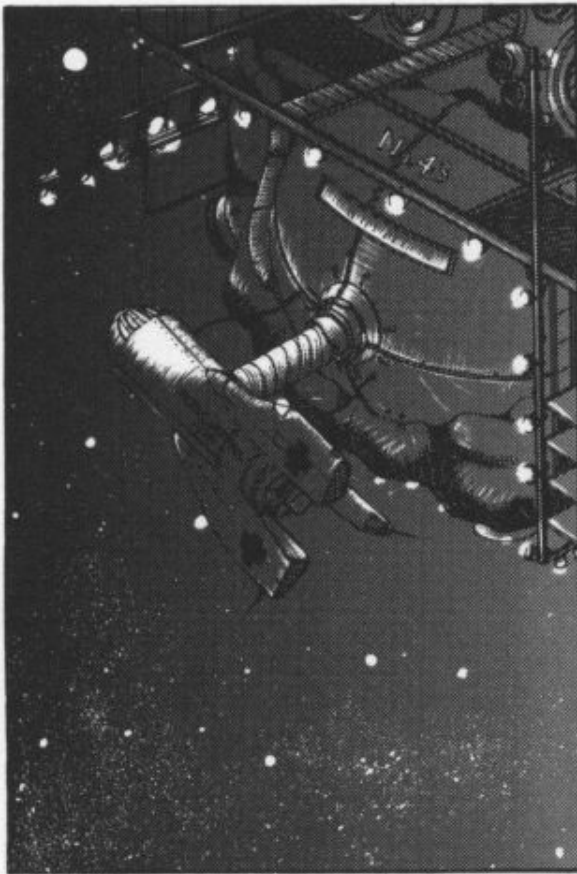




第43資源衛星にて
集団食中毒が
発生のもよう

原因物質など
詳しい状況は
一切不明





この管理者の話だと3人は昨日から非番だったそうで知人には「いい物が入った」って言ってパーティーを開いていたそうです…

あの先生…この人達の原因はなんなんですか!?

「やっ!」
「手こぎ」

Sexual
Appetite
Toadstool…

通称「神の息子」と呼ばれている植物でこいつらはこれを食用の茸と間違えて食ったらしい

後生大事に
持っていた
がった……

こいつにはアルカロイドの一種が含まれていてこいつが体内に入ると向精神的作用や血管拡張作用が起るんだ…

そして体温の上昇
体液の異常分泌は
通常の30〜40倍に
なり……



⑨ 本来の持続勃起症とは大抵の場合
ペニスの海綿体の血液が凝固し
組織破壊に至るこわ——い病。

天使のお仕事♡



性欲の
急激な増進が
起こるんだ

そして
ペニスの拡張
持続勃起
なんかの



あの…先生
早く治療して
あげた方が…

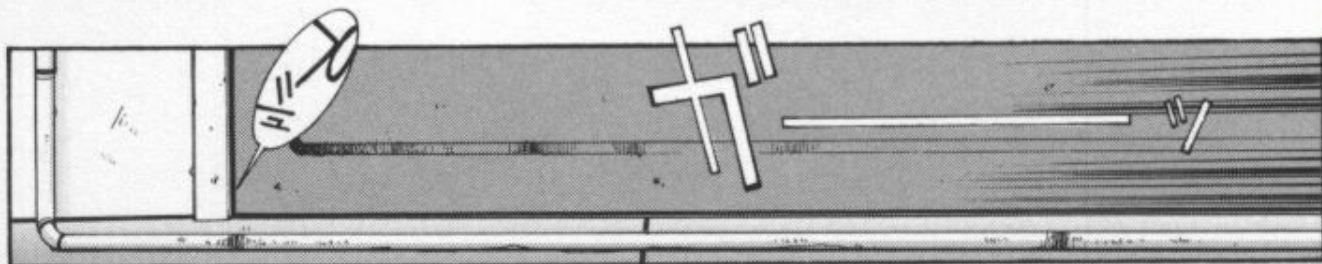
あ…



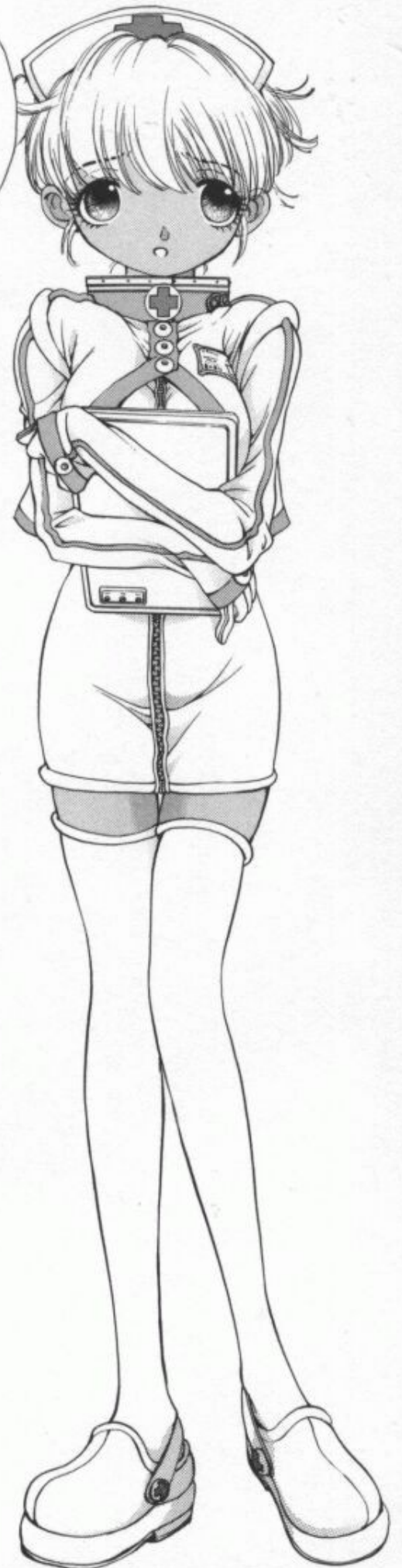
この特効薬は
ないんだよ
カゼや一種の
食中毒と同じ

毒が体内から
排泄されるのを
待つしかないんだ

……だが
このまま自然に
排泄されるのを
待っているのは
患者の身体…いや
精神が持たない…



天使のお仕事♡





あッ

いや...ダメ...

キョッ

みなさん...ちよつと
...おちついて...あつ...

あッ

ダメです...

いや...

...ん...ん...

キョッ

ガンバレ
リンネくん!!
きつと
ナイチンゲール様も
応援してくれるよ

グッ

うブツ

ンブツ

う...う...う...

ダ…ダメ!!

そんなに
大きくて…
かたいの挿入
られたら…

ングッ!!

ンッあッ

グッ…

ンッ…ゲ…

グッ…ブッ…ンッ

ズ
ズ
ズ
ズ







あッ
あはア

もつと射精して
いいですよ…
あたしの
身体に…

リンネの身体に
いっぱい排泄して
早くなおしま
しょう…

ああッ

すごい…
こんなのはじめて
……

ンゲッ

うッ

うッ

ンゲッ

ヒクッ

ヒクッ



あッ

あッ

あ

ああッ

こわれちゃう…
こわれちゃうう…

ぐぐッ



スゴイ
いい...

もつと
もつと
突いて...

うぶッ
うぶッ

ふぐッ
うぐッ

ズ
ズ

奥まで
広げて…

奥に…

だして…

ぜんぶリンネの
身体に排泄しつくし
てエエエエ…

あッ

ゴボッ
ゴボッ

あッ

あッ

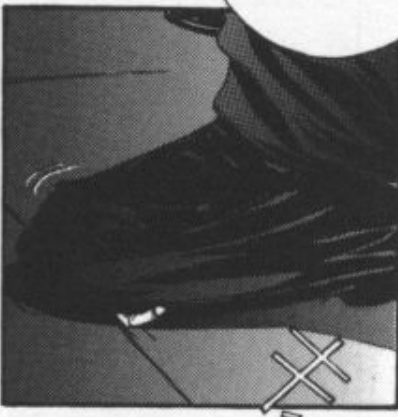
ゴボッ
ゴボッ







終わった
みたいだな
.....

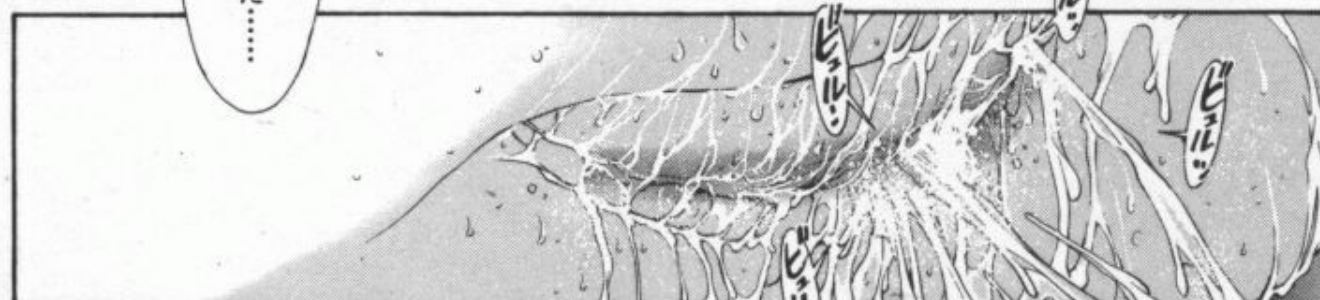




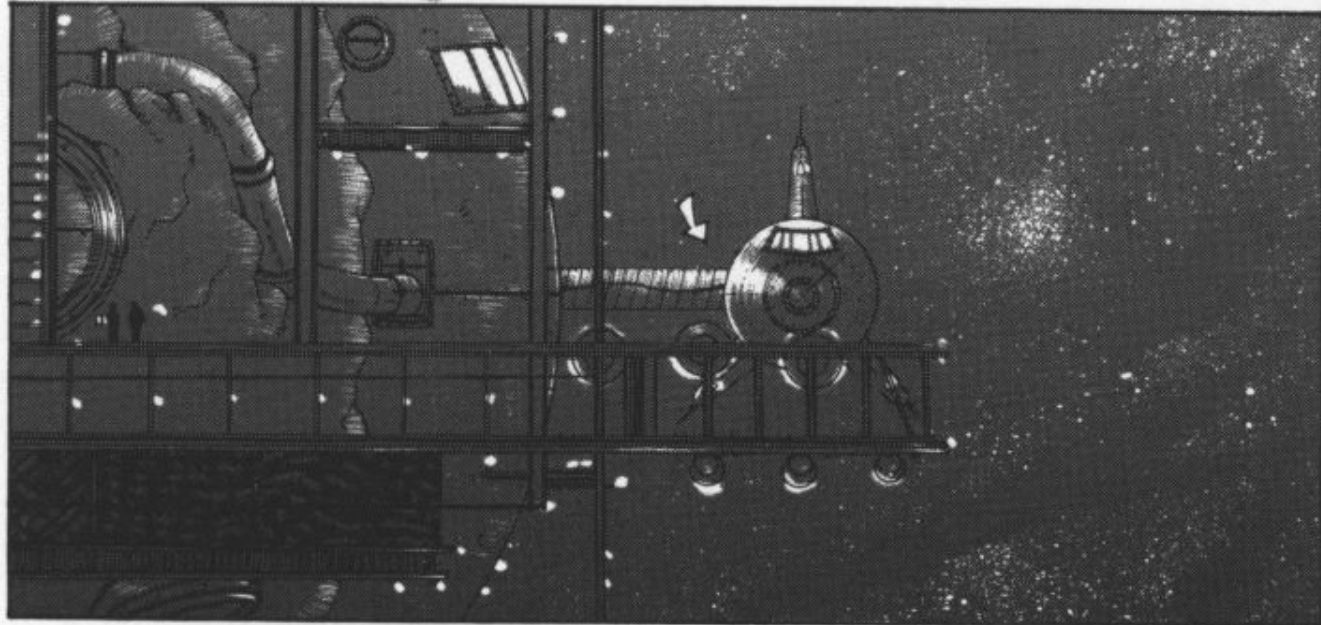
ガンバツたな
リンネくん…
全員これで
安心だ……

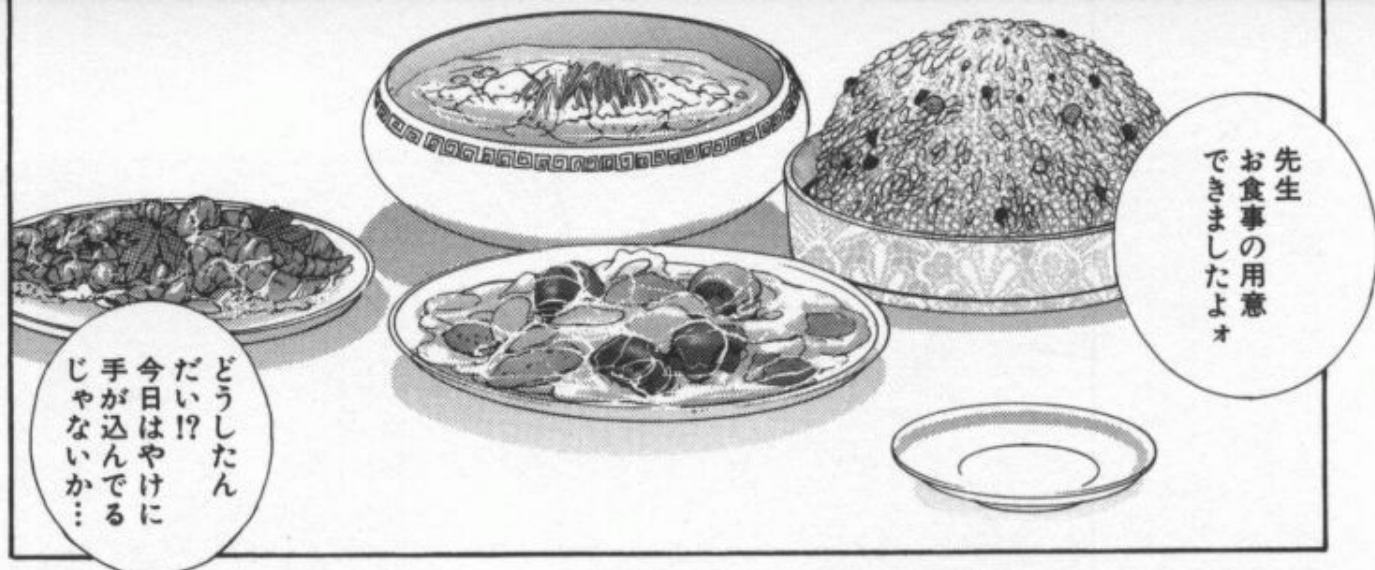


……よかった……



天使のお仕事♡





■おわり■



KOGANEIRO-BUTAI
STAFF

- ・はらぎたくま
- ・ゆきる
- ・桑原直子
- ・宮沢くん
- ・市丸さん
- ・オカダさん
- ・サトーさん

Special thanks
STAFF (奴隷)

- ・わたなべさん

ドール (素体: エクセレント-Hタイプ/リカVer)

衣装製作: 桑原直子

(ブラウス、白ソックスを除く)

小物製作: はらぎたくま

黄金色舞台⑤

著 者——はらぎたくま

発行人——長嶋博文

発 行——ヒット出版社

〒153-0051 東京都目黒区上目黒

1-4-3 501

営 業——03(5721)0371

FAX——03(5721)0373

2001年 3 月25日初版発行

©はらぎたくま



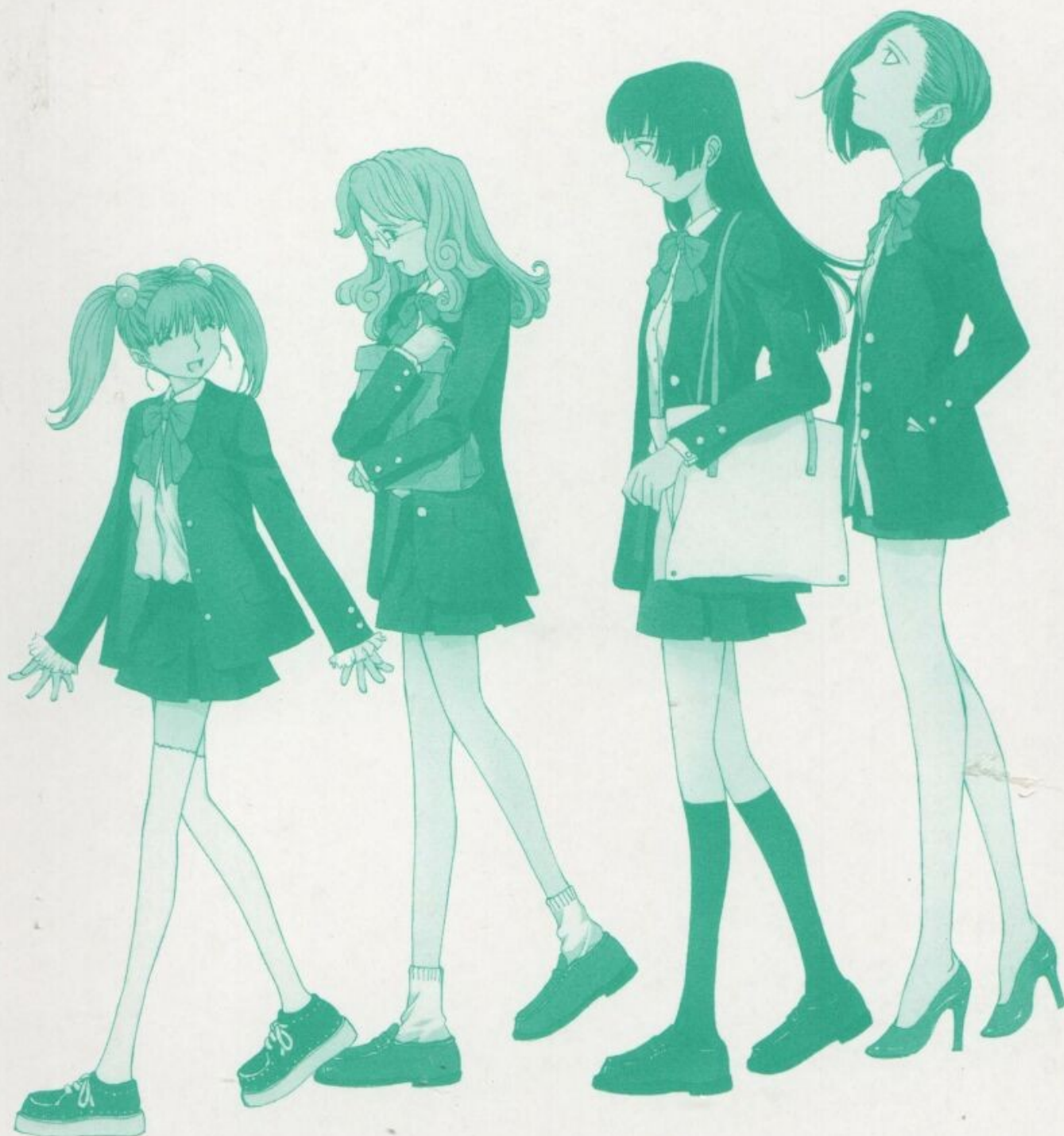
黄金色舞台

5



はらぎきたくま

成年
コミック







黄金色舞台

5



はらぎきたくま

成年コミック

ヒット出版社



ISBN4-89465-154-8

C9979 ¥874E

雑誌 52003-05

ヒット出版社／定価 本体874円＋税

